

09/284067

P01/JP97/03625

06.11.97

日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

REC'D 24 NOV 1997  
WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日

Date of Application: 1996年10月 8日

出願番号

Application Number: 平成 8年特許願第267449号

出願人

Applicant(s): シチズン時計株式会社

PRIORITY DOCUMENT

1997年10月31日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

荒井寿光



出証番号 出証特平09-3087052

【書類名】 特許願  
【整理番号】 964363  
【提出日】 平成 8年10月 8日  
【あて先】 特許庁長官 荒井 寿光 殿  
【国際特許分類】 H04L 29/00  
【発明の名称】 時計デザイン作成システム及びその方法  
【請求項の数】 31  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 シチズン時計株式会社内  
【氏名】 原崎 裕之  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 シチズン時計株式会社内  
【氏名】 加藤 史郎  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 シチズン時計株式会社内  
【氏名】 久保 いずみ  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 シチズン時計株式会社内  
【氏名】 川島 百合  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都田無市本町 6 丁目 1 番 12 号 シチズン時計株式会社 田無製造所内  
【氏名】 尾崎 正志  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都台東区東上野 2 丁目 1 8 番 5 号 シチズン商事株

式会社内

【氏名】 堀 明浩

【特許出願人】

【識別番号】 000001960

【氏名又は名称】 シチズン時計株式会社

【代表者】 中島 迪男

【代理人】

【識別番号】 100077517

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 敬

【電話番号】 03-5470-1900

【選任した代理人】

【識別番号】 100100871

【弁理士】

【氏名又は名称】 土屋 繁

【選任した代理人】

【識別番号】 100088269

【弁理士】

【氏名又は名称】 戸田 利雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100082898

【弁理士】

【氏名又は名称】 西山 雅也

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036135

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

特平 8-267449

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 時計デザイン作成システム及びその方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 時計デザイン作成システムであって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する手段と、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する手段と、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段と、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段と、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報を記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する手段と、  
を具備する時計デザイン作成システム。

【請求項2】 時計デザイン作成システムであって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する手段と、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記ネットワーク上で消費者に転送する手段と、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情

報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段と、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記ネットワークを通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段と、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する手段と、  
を具備する時計デザイン作成システム。

【請求項3】 時計デザイン作成システムであって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する手段と、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段と、

前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段と、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する手段と、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する手段と、  
を具備する時計デザイン作成システム。

【請求項4】 時計デザイン作成システムであって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する手段と、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段と、

前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段と、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する手段と、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する手段と、

を具備する時計デザイン作成システム。

【請求項5】 前記記録媒体は、少なくとも、文字板情報、指針情報、ケース情報、色情報、及びこれらの情報から消費者が選択するための部品選択制御プログラムを格納する請求項3又は4に記載の時計デザイン作成システム。

【請求項6】 前記記録媒体は、さらに、バンド情報、尾錠情報、時字情報、メッセージ情報、を格納する請求項5に記載の時計デザイン作成システム。

【請求項7】 前記情報通信ネットワークはインターネットである請求項2又は4に記載の時計デザイン作成システム。

【請求項8】 前記オリジナルデザイン情報を作成する手段において、消費者が独自に作成した部品デジタル情報を組み合わせる手段をさらに含む請求項1～4のいずれかの記載の時計デザイン作成システム。

【請求項9】 時計デザイン作成方法であって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する段階と、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する段階と、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情

報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階と、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階と、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階と、  
を具備する時計デザイン作成方法。

【請求項 10】 時計デザイン作成方法であって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する段階と、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記ネットワーク上で消費者に転送する段階と、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階と、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記ネットワークを通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階と、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報を記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階と、  
を具備する時計デザイン作成方法。

【請求項 11】 時計デザイン作成方法であって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する段階と、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階と、

前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する段階と、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階と、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する段階と、

を具備する時計デザイン作成方法。

【請求項 1 2】 時計デザイン作成方法であって、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する段階と、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階と、

前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する段階と、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階と、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し、完成した時計を配送する段階と、

を具備する時計デザイン作成方法。

【請求項 1 3】 前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、消費者が独自に作成した部品デジタル情報を組み合わせる段階をさらに含む請求項 9～1 2 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 1 4】 作成を依頼した前記消費者は前記情報通信ネットワークを介して前記時計メーカーの作成状況を監視する段階をさらに含む請求項 9～1 2 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 15】 前記時計メーカーは、完成した時計について、前記消費者の要望に応じて、前記消費者が指定した色と実際の完成品との色調を確認する段階をさらに含む請求項 9～12 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 16】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面に時計の完成図形、時計構成部品のパターン群、部品指定表示、の階層表示を可能とする請求項 9～12 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 17】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面に、時計構成部品を大群から順次、小群へ選択的表示を可能とする請求項 16 に記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 18】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面に、時計完成図の拡大表示を可能とする請求項 16 に記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 19】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、時計メーカーは消費者から指定色を受け、前記指定色に対する複数の近似色を同時に印刷し、印刷した確認用資料を消費者に提供可能にした請求項 16 に記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 20】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面に、複数の完成した時計を同一画面で比較表示を可能とする請求項 16 に記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 21】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面上の文字板にキーボードを介してメッセージ入力を可能とする請求項 9～12 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 22】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、画面の文字板上のメッセージの位置、量及び書体を指定可能とする請求項 21 に記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 23】 消費者が前記オリジナルデザイン情報を作成する段階において、同一画面上に複数のサンプルパターンを表示可能とする請求項 9～12 のいずれかに記載の時計デザイン作成方法。

【請求項 24】 コンピュータを、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する手段、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する手段、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する手段、

として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 25】 コンピュータを、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する手段、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記ネットワーク上で消費者に転送する手段、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記ネットワークを通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオ

リジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する手段、  
として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 2 6】 コンピュータを、  
時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者  
に通知する手段、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフト  
と部品デジタル情報を請求する手段、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるため  
のデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段、

前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納  
されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独  
自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記  
時計メーカーに送付して作成を依頼する手段、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録された  
オリジナルデータに従い時計を作成し、完成した時計を配送する手段、

として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 2 7】 コンピュータを、  
時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介し  
て消費者に通知する手段、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフト  
と部品デジタル情報を請求する手段、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるため  
のデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段、

前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納  
されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独  
自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記  
時計メーカーに送付して作成を依頼する手段、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し、完成した時計を配送する手段、として機能させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項28】 コンピュータに、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する段階、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する段階、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報を記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階、

を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項29】 コンピュータに、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する段階、

通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記ネットワーク上で消費者に転送する段階、

前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情

報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階、

消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記ネットワークを通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階、

時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階、

を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 30】 コンピュータに、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する段階、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階と、

前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する段階、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する段階、

を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 31】 コンピュータに、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワークを介して消費者に通知する段階、

通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、

前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階、

前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納さ

れているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する段階、

前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階、

前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する段階、

を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は時計デザイン作成システム及びその方法に関し、特に消費者自身が自分の好みに合ったオリジナルデザイン製品を時計メーカーに直接作らせるための、デジタル情報処理技術を基板とした製品供給システムに係わる。

本発明では消費者がインターネットや雑誌等の情報通信手段を介して時計メーカーにサービスを要求すると、時計メーカーはデザイン仕様を記録したデザイン情報を情報通信手段もしくは記録媒体を介して消費者に送り、消費者はそのデザイン情報から必要なデータを読み出して自分の好みに合ったオリジナルデザイン仕様を作成し、情報通信手段を利用して又は自己のフロッピーディスク等の記録媒体に記録して時計メーカーに送る。時計メーカーではこの消費者からのデザイン仕様に基づいて時計を作成し完成した時計を消費者に配送する。

【0002】

【従来の技術】

所定のカタログから消費者が自分の好みの製品を選択し、通信回線を介して注文する通信販売システムは既に知られている。

また、TV画面から消費者が自分の好みの製品を選択し、通信回線を介して注文するTV販売システムも既に知られている。

【0003】

これらの販売システムでは、予め製品メーカーが用意した数種類の、例えば文字板デザインの中から好みのデザインを指定できる方式が行われており、また、

ある程度の個数をまとめて注文すれば、文字板上やケースの裏蓋に指定した文字を印刷するという特別注文方式も行われている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし上述のような通信販売システムでは、消費者に若干のデザイン自由度は与えられているものの、文字板の指定や文字の印刷程度では、いわゆる世界に1つしかない自分だけのオリジナルデザイン時計を製作できる、という満足感を得られるものではなかった。

【0005】

そこで、本発明の目的は、情報通信ネットワーク等の通信手段を利用して消費者が製品メーカー（例えば時計メーカー）に直接アクセスすることができ、また、製品メーカーより提供されるデザイン基礎情報を用いて、自分でパソコン画面上にてデザイン設計を実行することにより、本格的なオリジナルデザイン時計の製作を可能にすることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の第1の形態では、時計デザイン作成システムであって、時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する手段と、通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する手段と、前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段と、消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段と、時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配達する手段と、を具備する。

【0007】

本発明の第2の形態では、時計デザイン作成システムであって、時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する手段と、通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段と、前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段と、前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する手段と、前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し、完成した時計を配送する手段と、を具備する。

【0008】

本発明の第3の形態では、時計デザイン作成方法であって、時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する段階と、通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する段階と、前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階と、消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階と、時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階と、を具備する。

【0009】

本発明の第4の形態では、時計デザイン作成方法であって、時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する段階と、通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階と、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階と、前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階と、前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配達する段階と、を具備する。

【0010】

本発明の第5の形態では、記録媒体であって、コンピュータを、時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する手段、通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記情報通信手段上で消費者に転送する手段、前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段、消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記情報通信手段を通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する手段、時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配達する手段、として機能させるためのプログラムを記録する。

【0011】

本発明の第6の形態では、記録媒体であって、コンピュータを、

時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する手段、通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する手段、前記記録媒体を受けた消費者が、前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する手段、前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する手段、前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し、完成した時計を配送する手段、として機能させるためのプログラムを記録する。

【0012】

本発明の第7の形態では、記録媒体であって、コンピュータに、  
時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信ネットワーク）を介して消費者に通知する段階、通知を受けた消費者が、時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を前記ネットワーク上で消費者に転送する段階、前記デザイン基礎情報を受けた消費者が、デザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して消費者が独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する段階、消費者が作成したオリジナルデザイン情報を前記ネットワークを通じて時計メーカーに返送して作成を依頼する段階、時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する段階、を実行させるためのプログラムを記録する。

【0013】

本発明の第8の形態では、記録媒体であって、コンピュータに、  
時計メーカーが、時計デザインの作成サービスを情報通信手段（又は情報通信

ネットワーク)を介して消費者に通知する段階、通知を受けた消費者が、前記時計メーカーに所定の通信手段でデザインソフトと部品デジタル情報を請求する段階、前記時計メーカーが、提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体を前記消費者に提供する段階と、前記記録媒体を受けた消費者が前記記録媒体を自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して供給された部品デジタル情報と独自の部品デジタル情報を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する段階、前記消費者が、前記オリジナルデザイン情報を所定の記録媒体に記録し、前記時計メーカーに送付して作成を依頼する段階、前記時計メーカーが、前記消費者より受け取った所定の記録媒体に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成し完成した時計を配送する段階、を実行させるためのプログラムを記録する。

#### 【0014】

##### 【発明の実施の形態】

図1は本発明の基本操作フローチャート(その1)である。本例は、デザイン基礎情報を情報通信ネットワーク上で消費者に転送し、消費者はオリジナルデザイン情報を同じネットワーク上で返送する場合である。

まず、時計メーカーは、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワーク(例えばインターネット(24Hサービス))を介して消費者に通知する(ステップS1)。通知を受けた消費者は、時計メーカーにインターネット、電子メール、等によりデザインソフトと部品デジタル情報を請求する(S2)。

#### 【0015】

次に、時計メーカーは、提供可能な部品デジタル情報と、それを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報をネットワーク上で消費者に送る(S3)。デザイン基礎情報を受けた消費者は、そのデザイン基礎情報に記録されたデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用し、又、場合によっては消費者が独自に作成した部品デジタル情報を組み合わせて、完成した時計としてのオリジナルデザイン情報を作成する(S4)。そして消費者は、オリジナルデザイン情報をネットワークを通じて時計メーカーに送付して作成を依頼する(S5)。

【0016】

次に、時計メーカーは消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に記録されたオリジナルデータに従い時計を作成する（S6）。なお、消費者はネットワークを通じて時計メーカーの作成状況を監視することができる。そして、時計メーカーは時計を完成させると消費者に配送する（S7）。ここで、時計メーカーは、文字板の色調だけはディスプレイ画面上の色と作成された文字板の実際の色が微妙に異なることを配慮して、希望者に対しては色調確認を行う。

【0017】

図2は本発明の基本操作フローチャート（その2）である。本例は、デザイン基礎情報を記録媒体に一旦格納して消費者に配送し、消費者はオリジナルデザイン情報をフロッピーディスク（FD）で返送する場合である。

まず、時計メーカーは、時計デザインの作成サービスを情報通信ネットワーク（例えばインターネット（24Hサービス））を介して消費者に通知する（ステップS11）。通知を受けた消費者は、時計メーカーにインターネット、電子メール、封書等によりデザインソフトと部品デジタル情報を請求する（S12）。次に、時計メーカーは、提供可能な部品デジタル情報と、それを組み合わせるためのデザインソフトとを格納した記録媒体（例えばCD-ROM）を消費者に送る（S13）。

【0018】

CD-ROMを受けた消費者は、提供されたCD-ROMを自己の装置にセットし、格納されているデザインソフトウェアを使用して、供給された部品デジタル情報と、必要に応じて消費者が独自に作成した部品デジタル情報（例えば、独自のメッセージを書いた文字板）を組み合わせ、オリジナルデザイン情報を作成する（S14）。そして消費者は、オリジナルデザイン情報をフロッピーディスクに記録し、時計メーカーに送付して作成を依頼する（S15）。

【0019】

次に、時計メーカーは消費者より受け取ったフロッピーディスクに記録されたオリジナルデータに従い時計を作成する（S16）。なお、作成を依頼した消費者はインターネットを通じて時計メーカーの作成状況を監視することができる。

そして、時計メーカーは時計を完成させると消費者に配送する（S17）。

図3は時計メーカーから記録媒体を受けた消費者側の基本操作フローチャートである。即ち、上記のステップS14を具体化したものである。以下のステップは時計メーカーから提供された記録媒体としてのCD-ROM内の制御プログラム（図13の番号1参照）に基づいて行われる。また後述するように、CD-ROMには消費者が選択し得るメイン情報として、文字板情報、指針情報、ケース情報、色情報、が記録され、かつサブ情報としてバンド情報、尾錠情報、時字情報、その他情報（例えばメッセージ情報）等が記録されている（図13の番号2及び3参照）。

#### 【0020】

図示のように、画面には、まず「時計工房」が表示され（図14参照）、メインメニューが表示される（S21）。次に、イメージチェックを行う（S22）。イメージチェックは、3問出題され、例えば「あなたの遊びのフィールドは？」との問い合わせに対して、「アウトドア」か「街」かを選択する（図15参照）。

次に、カスタムサンプルを選択する（S23）。即ち、以下の操作で、自己のオリジナル時計を作成すべく文字板、指針、ケース、色、等の選択に入る。即ち、消費者が画面上の「時計工房」の中でオリジナル時計を設計する（図16～図29）。次にカスタム画面で作成した時計を保存する（S24）。本実施例では時計は最大3個まで保存することができる（図30）。保存は（保存）をクリックすることで行われる。そして、オーダーデータ作成画面を表示する（S25）。さらに、オーダー金額確認画面を表示する（図32及び図33）。

#### 【0021】

図4は図3のS21のメインメニュー表示（図14参照）の具体的なステップである。

まず、メインメニューとして、（ご説明）（読み込む）（イメージチェック）（デザイン）（保存画面）（終了）を表示する（S31）。次に、本システムの実行時の日付チェックを行う（S32）。次に（ご説明）をクリックすると、本システムの概要を説明する画面へ移動する（S33）。次に（読み込む）をクリックすると、消費者が作成済みのオーダーデータを読み込み、カスタム画面へ移動

する（S34）。次に（イメージチェック）をクリックすると、イメージチェック画面（図15）に移動する（S35）。次に（デザイン）をクリックすると、サンプルパターンを表示したカスタムサンプルパターン画面（図17）に移動する（S36）。次に（保存画面）をクリックすると、保存画面（図30）に移動する（S37）。そして（終了）をクリックすると、本プログラムは終了する（S38）。

【0022】

図5は図3のS22のイメージチェックの具体的なステップである。

まず、イメージチェックを行う問題を3つ出題する。解答が全て終了するとイメージチェック結果画面（図16）を表示する（S41）。次にメニューとして、（保存）（デザイン）（やりなおし）を表示し、例えば、5個の時計を表示する（S42）。次に任意の時計をクリックし、（デザイン）をクリックすると、カスタム選択画面（図18）に移動する（S43）。次に任意の時計をクリックし、（保存）をクリックすると保存画面（図30）に移動する（S44）。次に（やりなおし）をクリックすると、イメージチェック画面に戻りイメージチェックをやり直す（S45）。

【0023】

図6は図3のS23のカスタムサンプル選択のステップ（その1）である。

まず、カスタムする前に5個の時計サンプルパターンを表示する（図17）（S51）。次に任意の時計をクリックし、（デザイン）をクリックすると、カスタム選択画面（図18）へ移動する（S52）。次に図18に示すように、（時計全体図）、（文字板）、（針）、（ケース）、（バンド／尾錠）、（りゅーず）、等の指示マークを表示し、さらに（時字）、（イラスト文字）、（メッセージ）、（虫眼鏡）、等の指示マークを表示し更に指示マークで選択された構成部品のサンプルを表示する（S53）。さらに、（クリスマス）（ギフト）（一般）等のカテゴリーから1つを選択して、その目的に合った分類された文字板を一覧表示する画面（図19）に移動する（S54）。

【0024】

次に、図18に示すように部品として（文字板）を選択したとき、図示の6個

のサンプル文字板の中から所望の文字板を選択すると、時計全体図の文字板が置き換えられる。同様にしてケース、バンド等の他の部品も、指示マークで選択することによりサンプル表示部に表示させ、時計全体図の中に置き換えてデザインすることができる。また、文字板等の各部品は全体のコーディネートを確認しながら何度も変更することができる。また、オリジナルデザインがあれば読み出すこともできる（S 55）。

## 【0025】

次に選択された文字板にメッセージを入力する（S 56）。メッセージは図21に示すように、例えば”Happy Birthday”である。そして（虫眼鏡）をクリックすると、文字板が拡大表示（図21参照）される（S 57）（但し、図21では（メッセージ）ではなく（イラスト／文字）で示されている）。最後に（保存）をクリックすると、現在作成中のカスタム時計を保存する画面（図30）に移動する（S 58）。さらに、（読み込み）をクリックすると、消費者が作成した文字板をファイルから呼び出し、6個の内の空いている個所に表示する（図25参照）。

## 【0026】

図7は図3のS23のカスタムサンプル選択のステップ（その2）である。

まず、①文字板一覧表を表示する（S 61）。文字板を1画面に最大24個表示する。この中から任意の文字板を選択し、拡大表示する（図20参照）。拡大表示上で（確認）をクリックすると図18に戻り8個の空いている個所に表示される。また拡大ウインドウにはタイトルやアーティスト名が表示される。

## 【0027】

次に文字板確認ウインドウ（図20）を表示する（S 62）。

（確認）（取消）（保存）（戻る）を表示し（S 63）。（確認）をクリックすると（S 64）、図18が表示され、空白のマスにここで選択した文字板を入れる。そして（取消）をクリックすると、本確認ウインドウを閉じ（S 65）、図19が表示される。図8は図3のS23のカスタムサンプル選択のステップ（その3）である。まず、文字板にイラスト／文字（例えば、”Happy Birthday”）を入力する（S 71）。次に（虫眼鏡）をクリックし、ケース、時字、針、文字

板、りゅーず、メッセージ、等を拡大表示する（S72）。次に（閉じる）をクリックし、拡大ウインドウを閉じる（S73）。次に作成した文字板のイメージファイルを読み込む（S74）。

【0028】

次に（読み込み）をクリックし、ファイルダイアログウインドウを表示し、文字板のイメージファイルを開く（S75）。読み込んだイメージが画面→の8個に表示される。なお、文字板以外のデザインサンプルである、時字、針、ケース、バンド、りゅーず、等については、フローチャートを省略し、以下のように画面の説明に留める。

【0029】

まず、時字の選択を図23で説明する。（時字）をクリックし、変更可能な時字を表示する。棒、丸点、ローマ、等をクリックすると、その色替えをした時字が画面に最大12個表示され、その中から選択する。表示は選択した時字に替わる。そして（保存）をクリックすると、現在作成中のカスタム時計の保存画面に移動する。

【0030】

次に、メッセージの入力を図24で説明する。所定のフォント（例えばゴシック体、明朝体）を選択する。字体の色は画面の右下の10個から選択する。次に、図25により針を選択する。（針）をクリックし、5種類の針から1つを選択する。（保存）で保存画面に移動する。次に、図26でケースを選択する。（ケース）をクリックし、変更可能なケースを表示し、その中から所望のケースを選択する。選択すると、時計のケースの色が替わる。（保存）をクリックすると保存画面に移動する。

【0031】

上述とほぼ同様な手順で、図27、図28、図29に示すように、バンド、尾錠、りゅーず、等を選択する。

図9は図3のS24の保存画面表示のステップである。

まず、図30に示すように保存画面を表示し、（オーダー）（保存）（デザイン変更）（削除）等を表示する（S81）。次にオーダーするときはいずれかの

時計を選択した後に、（オーダー）をクリックする（S82）（図31参照）。また保存するときはいずれかの時計を選択した後に、（保存）をクリックする（S83）（図31参照）。次に任意の時計を選択した後にデザイン変更するときは、（変更）をクリックする（S84）。カスタム画面に移動してコーディネートを変更できる。また（削除）をクリックすると選択した時計が消去される。図31に示すように、確認のためにオーダーする時計の最終確認画面を表示する（S85）。そして（確認）をクリックする（S86）。図32に移動する。なお（キャンセル）をクリックすると保存画面（図30）に戻る。

## 【0032】

図10は図3のS25のオーダーデータ作成のステップである。

まず消費者が記入してオーダーデータを作成する（S91）。次に画面の所定の空欄にオーダー情報を入力する（S92）。次に（金額確認）をクリックして（S93）、図33を表示する。そして（オーダー作成）をクリックし、ハードディスク又はフロッピーディスクにオーダー情報を記録する（S94）。なお図34は3個の時計が保存済みで4個目を追加する場合の表示である。4個目の時計を保存する場合、既に保存した時計と入れ替えることで現状の時計を保存する。

## 【0033】

図11は色調確認のフローチャートである。

まず、時計メーカーは消費者に色調確認が必要か否か問い合わせる（S101）（図32及び図33参照）。消費者は時計メーカーに色調確認を依頼する（S102）。時計メーカーは依頼に基づいてサンプル色とその周辺の色調をいくつか組み合わせた一連のサンプル情報を印刷して消費者に送る（S103）。

## 【0034】

消費者はサンプル情報に基づいてサンプル色か近似色かのいずれかを選択して時計メーカーに回答する（S104）。時計メーカーはその回答に従って消費者が選択した色で文字板を作成する（S105）。

図12は本発明を適用する環境の構成図である。情報通信ネットワークとしてインターネットが使用される。消費者である加入者C（1～n）はインターネッ

トを介して時計メーカーMのホストコンピュータに請求すると、時計メーカーからCD-ROMが請求した消費者Cに提供される。消費者は上述の手順でオリジナルデザインの時計を作成し、FDに記録して時計メーカーに送る。時計メーカーはオリジナル時計を完成させ消費者に送る。

【0035】

なお、図12において、点線で示すように、時計メーカーはCD-ROMを消費者に提供する代わりに、CD-ROMと同様の内容のデザイン基礎情報をインターネットを利用して消費者に提供することもできる。また、消費者からFDを送らずに、同様の内容をオリジナルデザイン情報としてインターネットを利用して時計メーカーに送付することもできる。

【0036】

図13は本発明で使用する記録媒体の内容説明図である。番号2及び3に示すように、文字板情報、指針情報、ケース情報、色情報、バンド情報、尾錠情報、時字情報、その他情報としてメッセージ情報、等、が格納されている。具体的には、請求項24から31に記載の内容と、上述の図14から図34の内容を表示し制御を行う部品選択制御プログラム1が格納されており、制御は、図1～図11に示す操作フローチャートとその説明のステップで示されている。

【0037】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、部品デザイン情報とデザインソフト、即ち、時計メーカーの代役、と対話しながら消費者自身のオリジナル製品の仕様を作成することができ、さらにデジタル情報による情報交換のため、消費者が独自に作成した部品（例えば文字板）は完全に再現することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の基本操作フローチャート（その1）である。

【図2】

本発明の基本操作フローチャート（その2）である。

【図3】

本発明の消費者操作の基本フローチャートである。

【図4】

メインメニュー表示のステップである。

【図5】

イメージチェック表示のステップである。

【図6】

カスタムサンプル選択のステップ（その1）である。

【図7】

カスタムサンプル選択のステップ（その2）である。

【図8】

カスタムサンプル選択のステップ（その3）である。

【図9】

保存画面表示のステップである。

【図10】

オーダーデータ作成のステップである。

【図11】

色調確認のステップである。

【図12】

本発明の時計デザイン作成システムの構成図である。

【図13】

本発明で使用する記録媒体の内容要部構成図である。

【図14】

メインメニューの画面表示図である。

【図15】

イメージチェックの画面表示図である。

【図16】

イメージチェックの結果画面表示図である。

【図17】

カスタムサンプル選択画面表示図である。

【図18】

カスタムサンプル選択の文字板表示図である。

【図19】

カスタムサンプル選択の文字板一覧表示図である。

【図20】

カスタムサンプル選択の文字板確認表示図である。

【図21】

カスタムサンプル選択の文字板表示図である。

【図22】

カスタムサンプル選択の文字板読み込み表示図である。

【図23】

カスタムサンプル選択の時字表示図である。

【図24】

メッセージ入力表示図である。

【図25】

カスタムサンプル選択の指針表示図である。

【図26】

カスタムサンプル選択のケース表示図である。

【図27】

カスタムサンプル選択のウレタンバンド表示図である。

【図28】

カスタムサンプル選択の革バンド表示図である。

【図29】

カスタムサンプル選択のりゅーず表示図である。

【図30】

保存画面表示図である。

【図31】

確認画面表示図である。

【図32】

オーダーデータ作成画面表示図である。

【図33】

オーダー金額確認画面表示図である。

【図34】

保存ボタン選択表示図である。

【符号の説明】

1 …部品選択制御プログラム

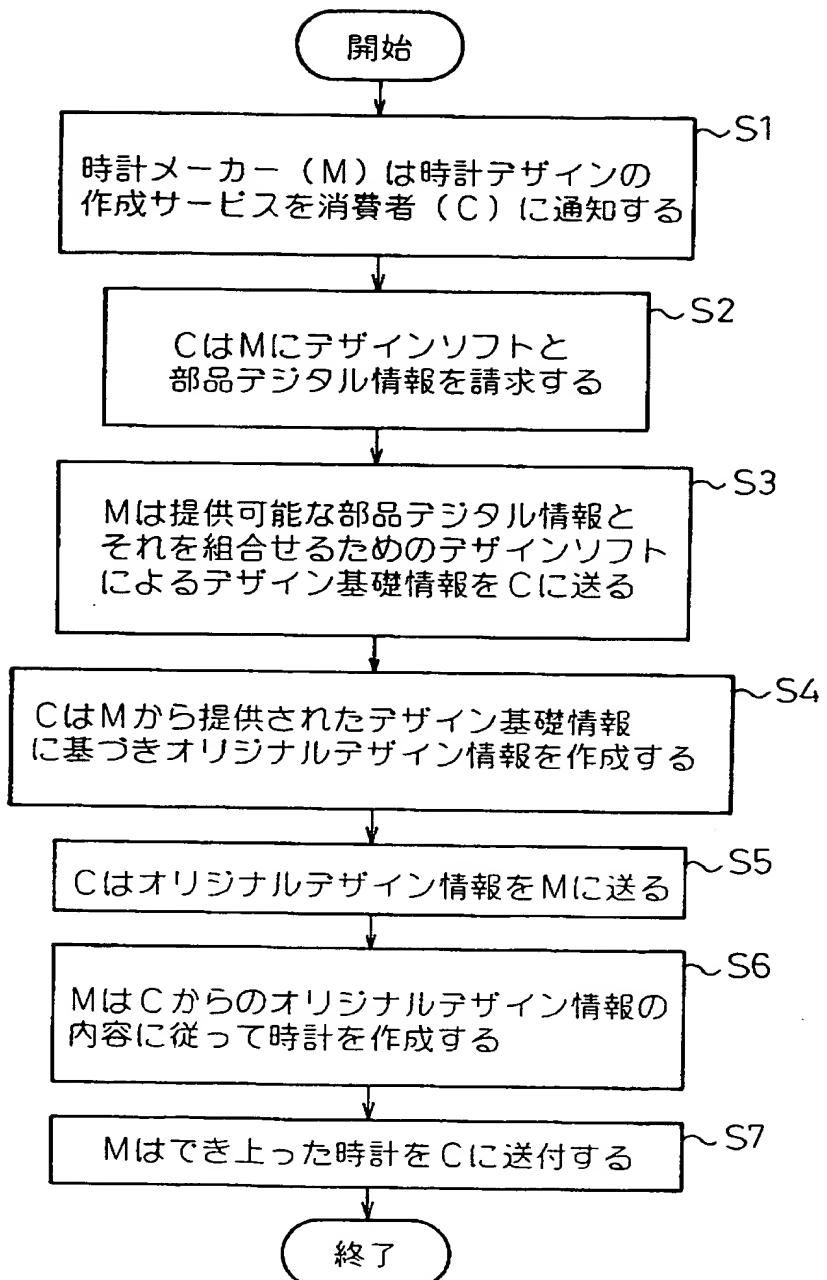
2, 3 …デザイン部品情報

C …消費者

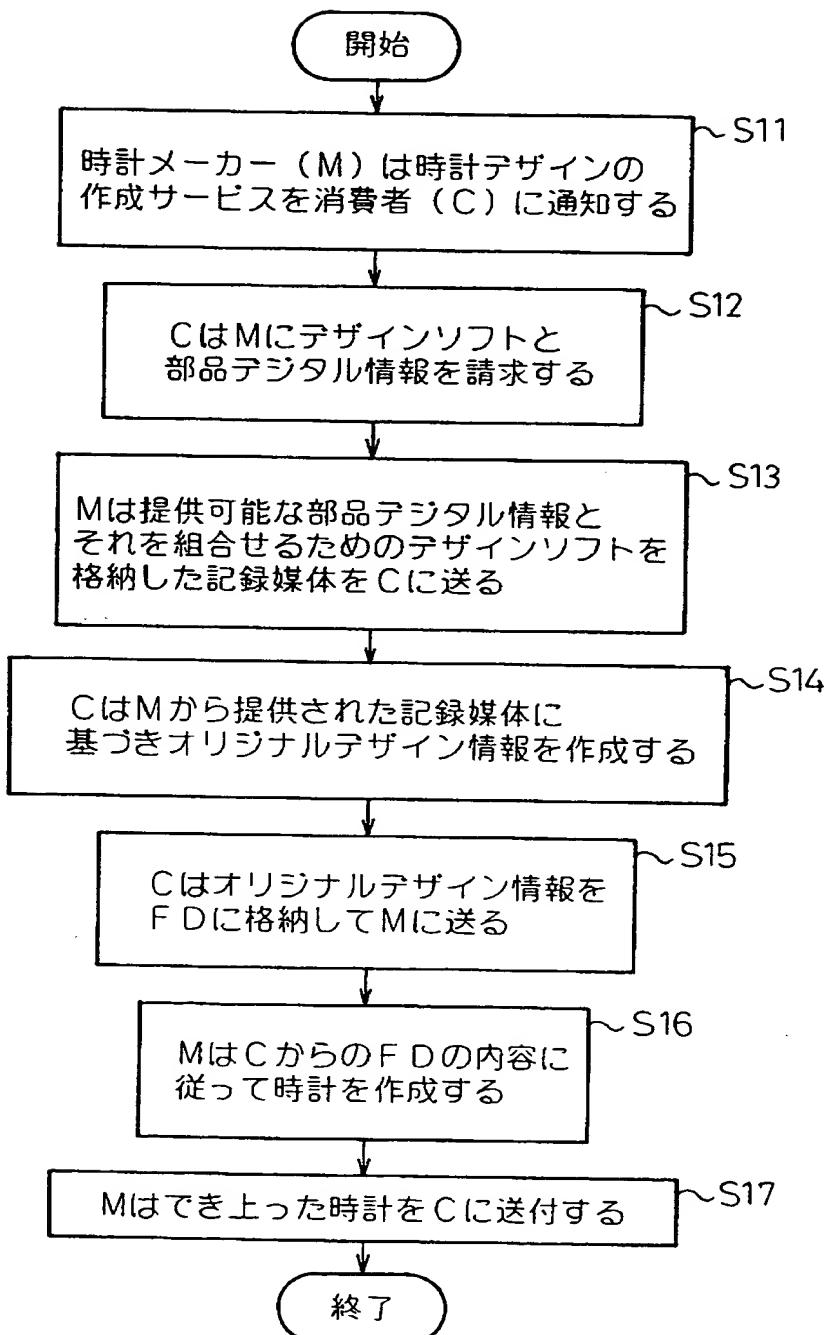
M …時計メーカー

【書類名】 図面

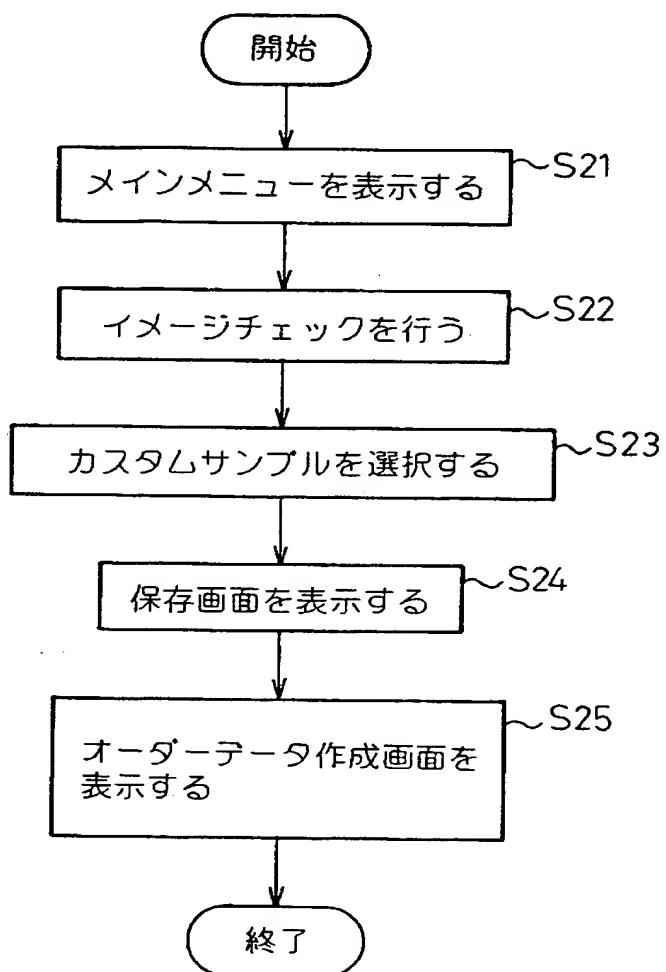
【図1】



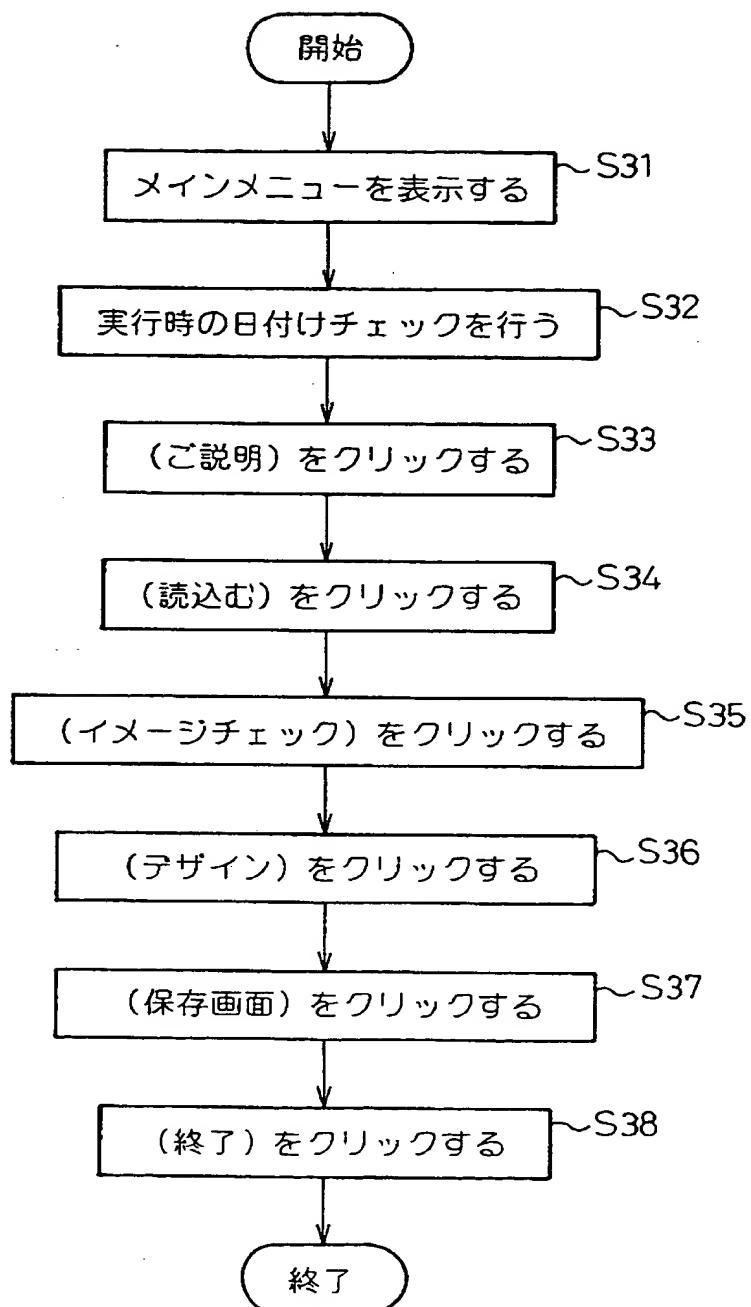
【図2】



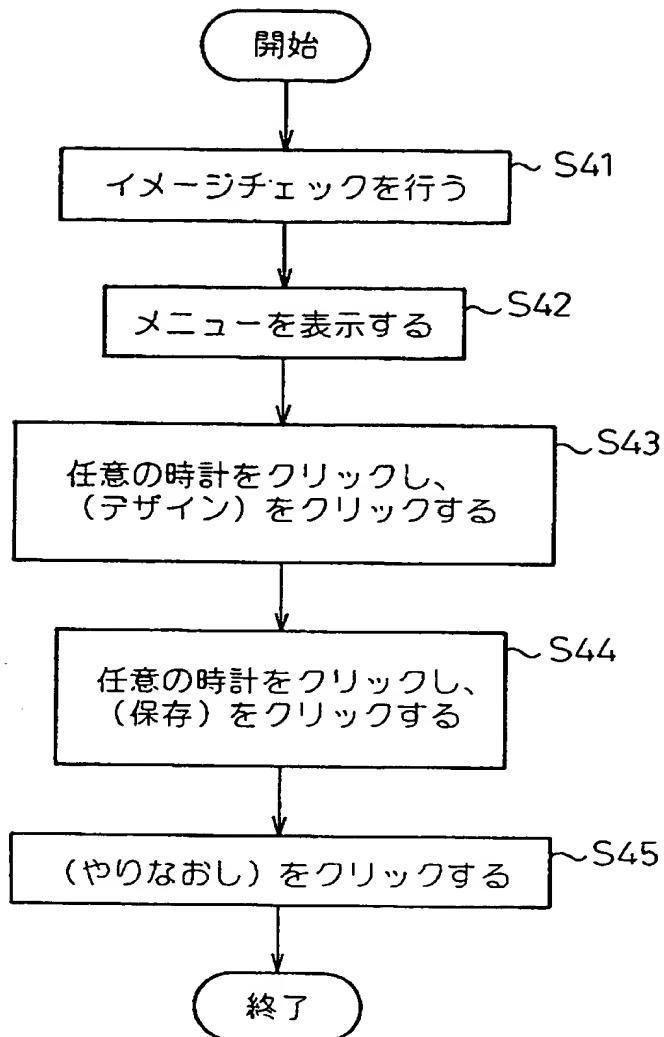
【図3】



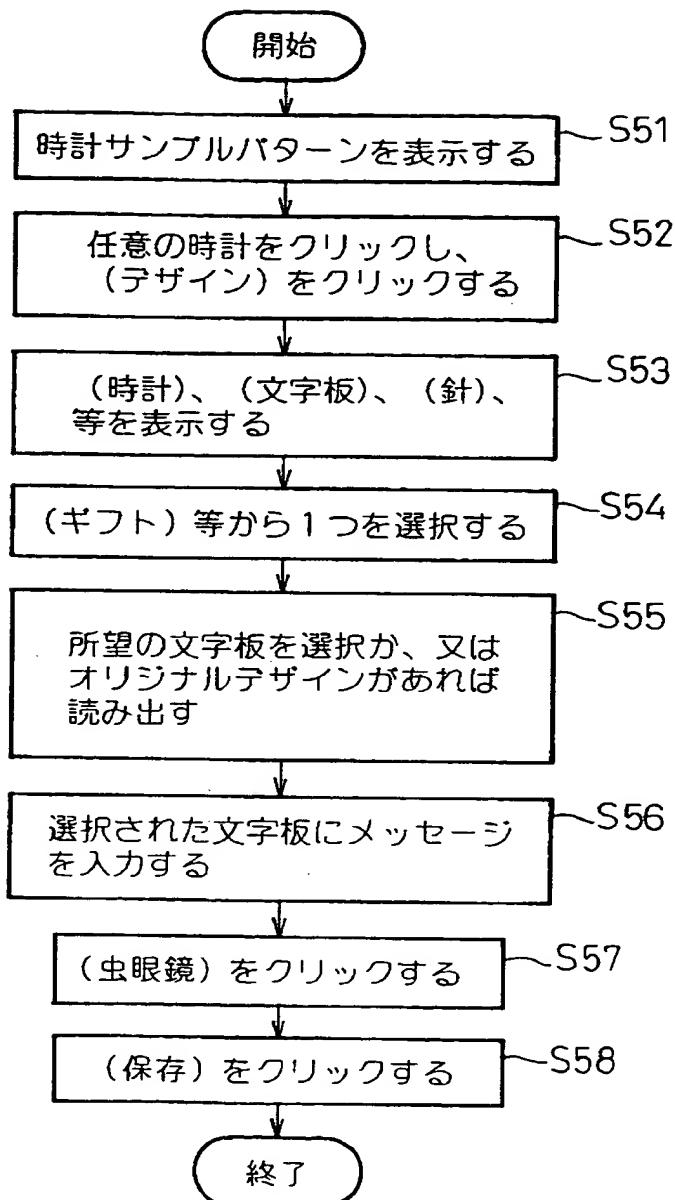
【図4】



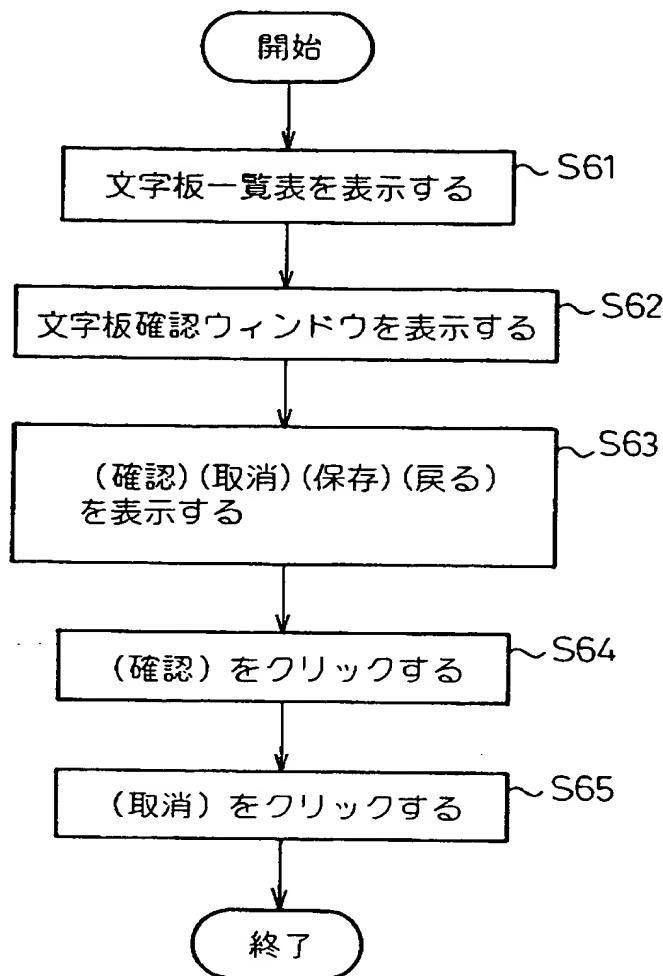
【図5】



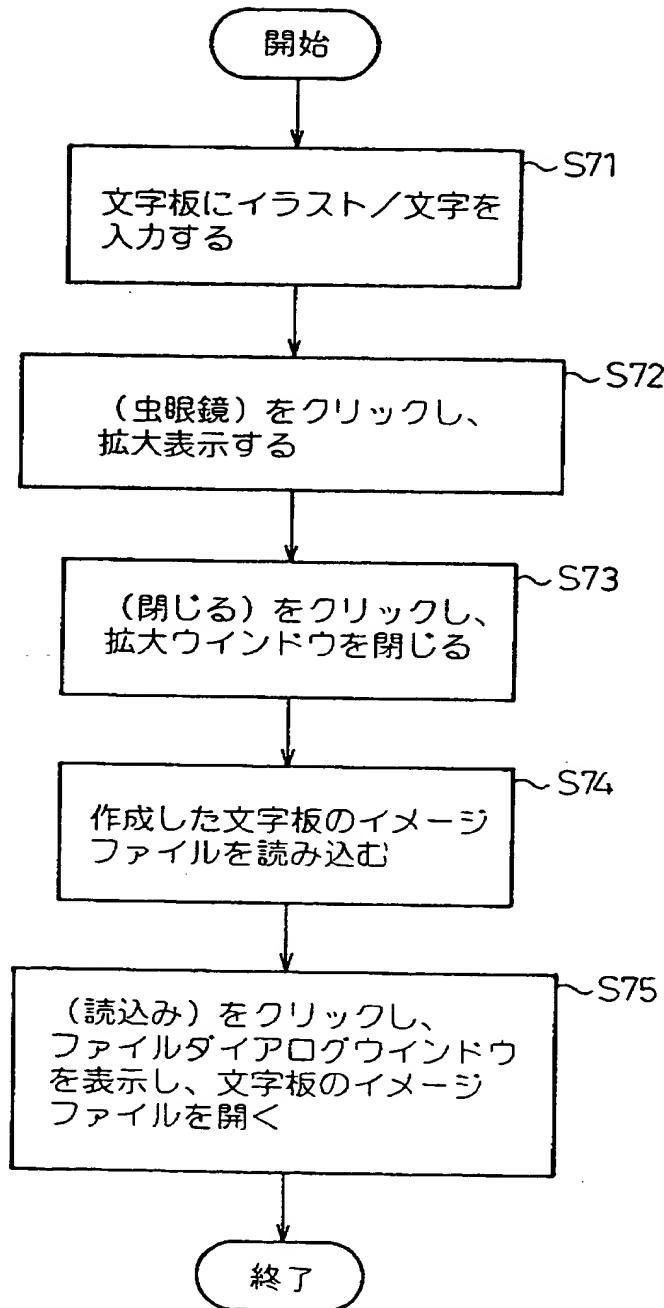
【図6】



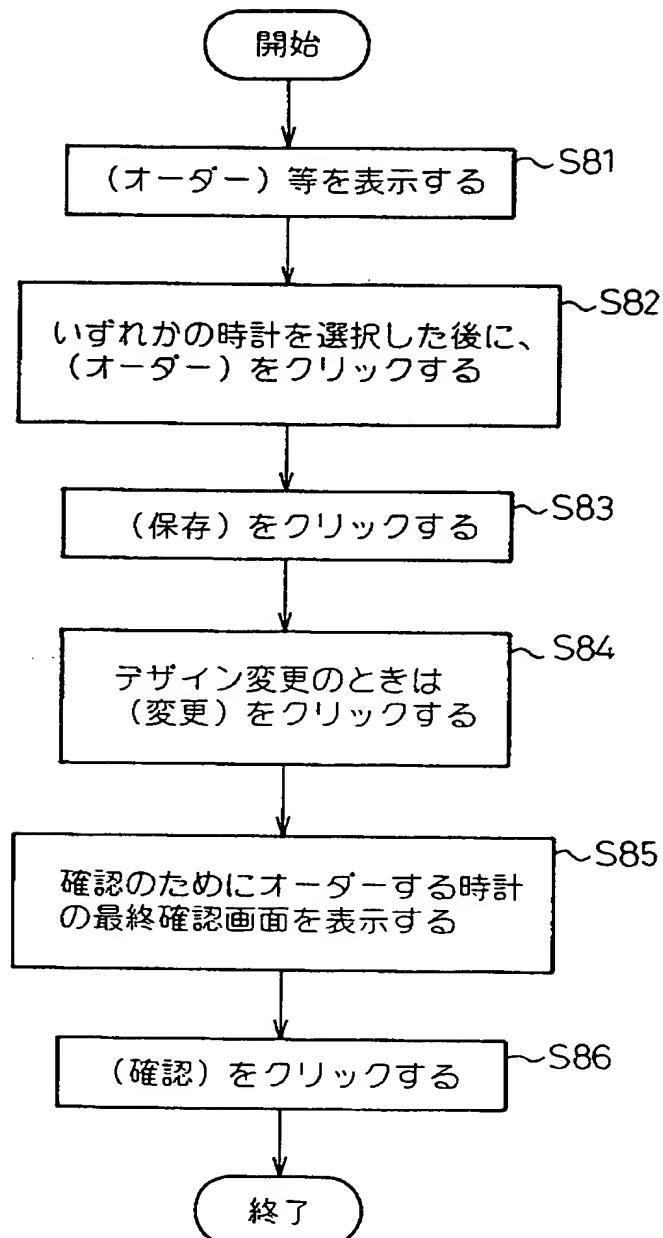
【図7】



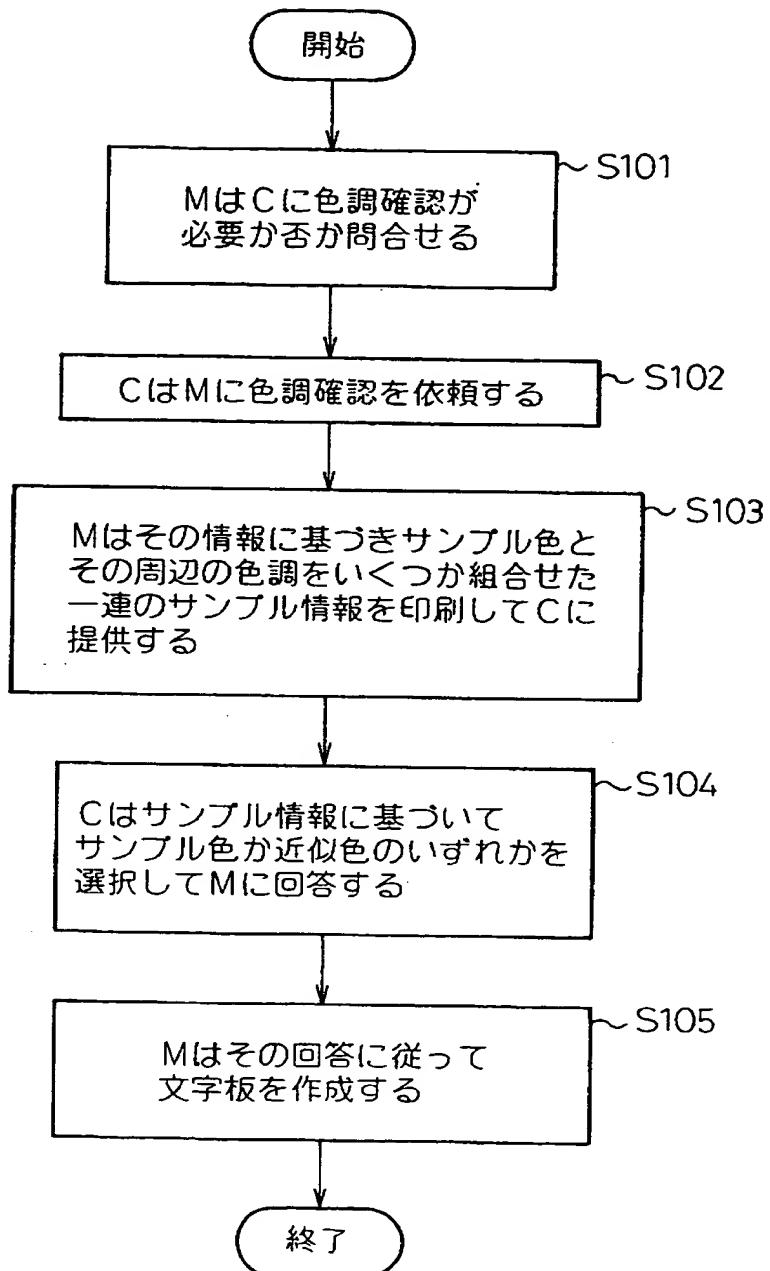
【図8】



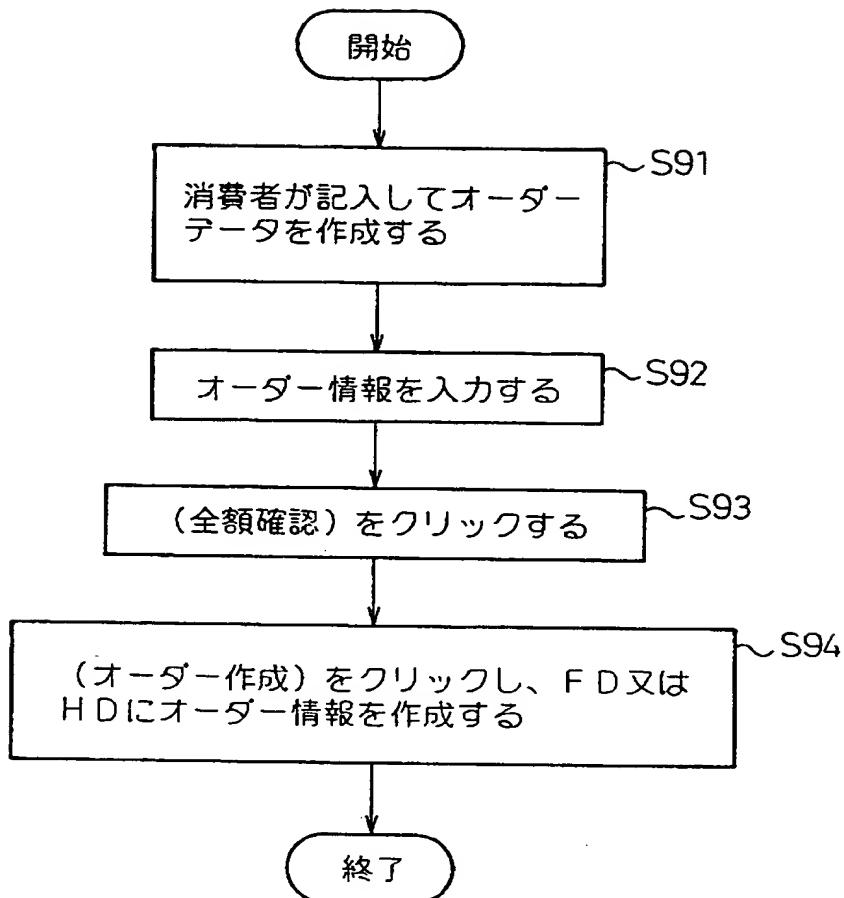
【図9】



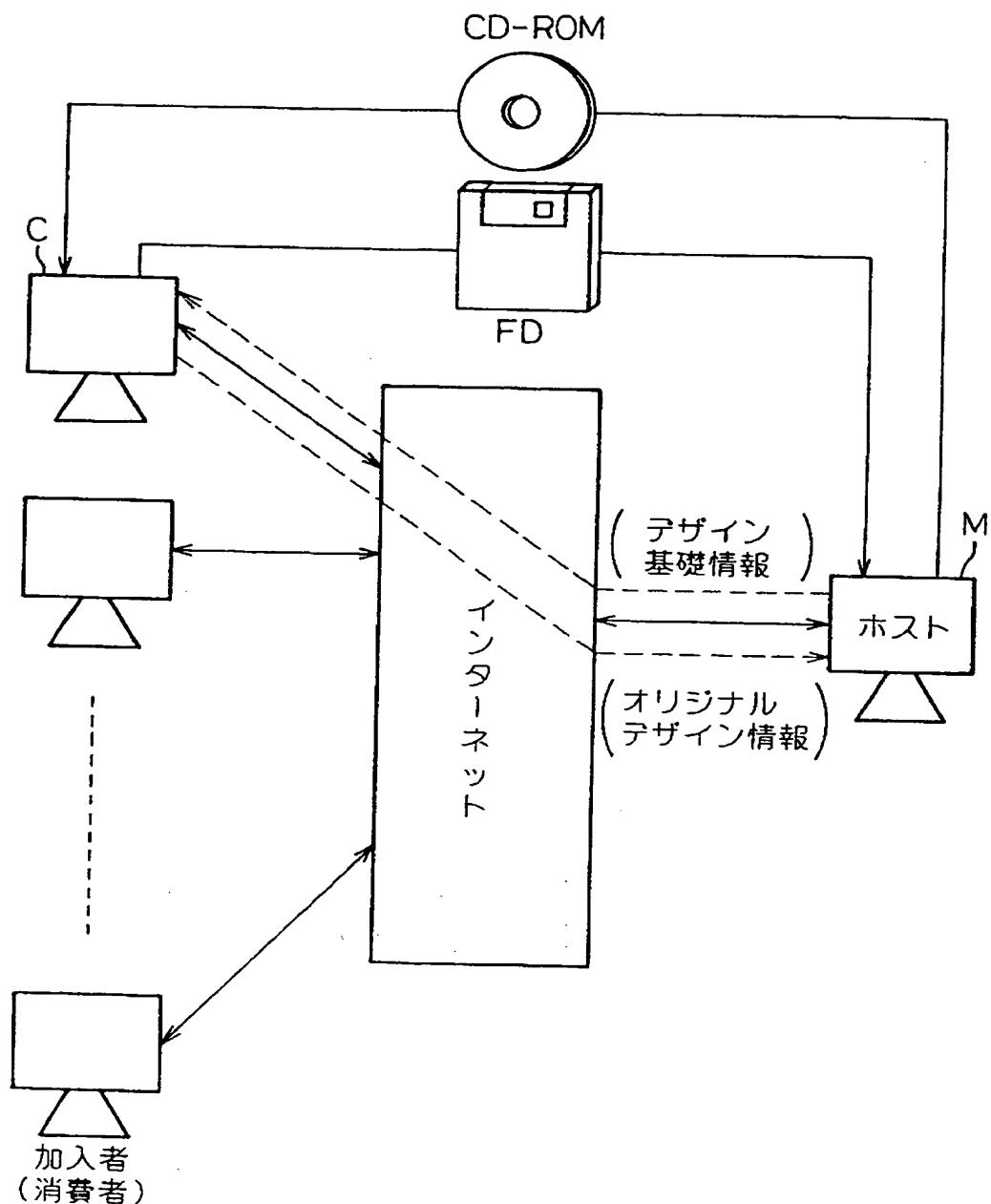
【図10】



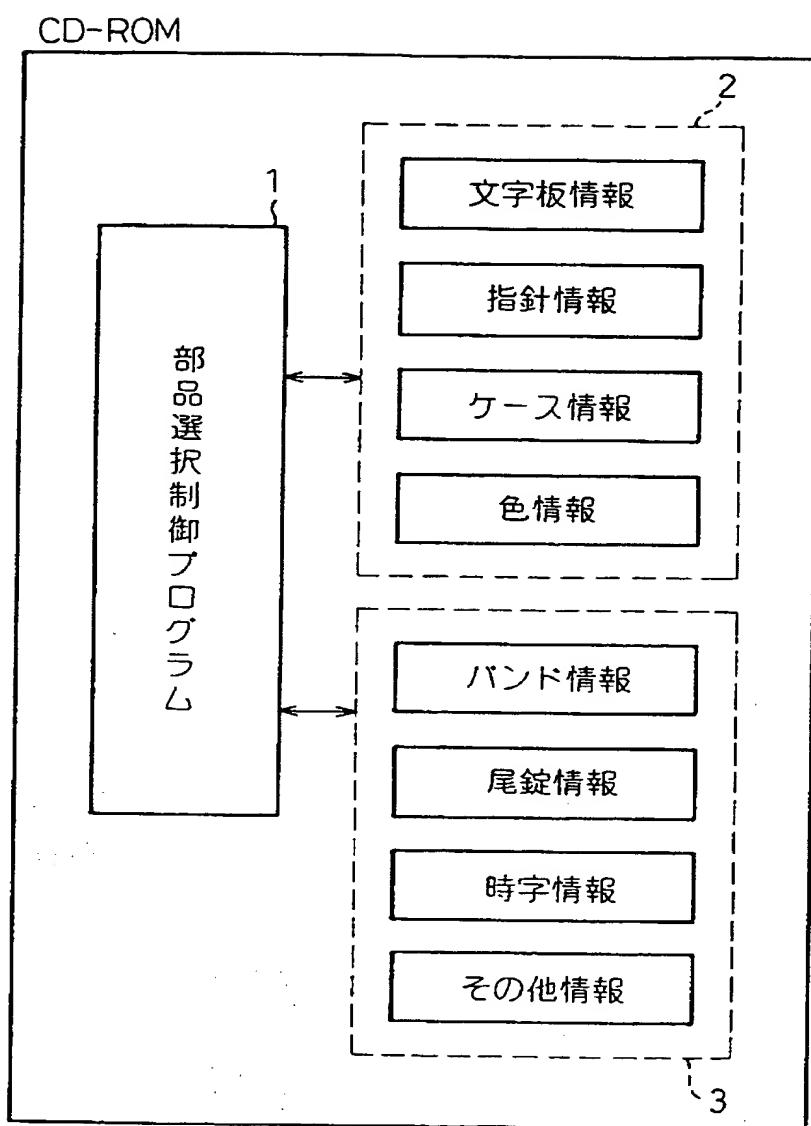
【図11】



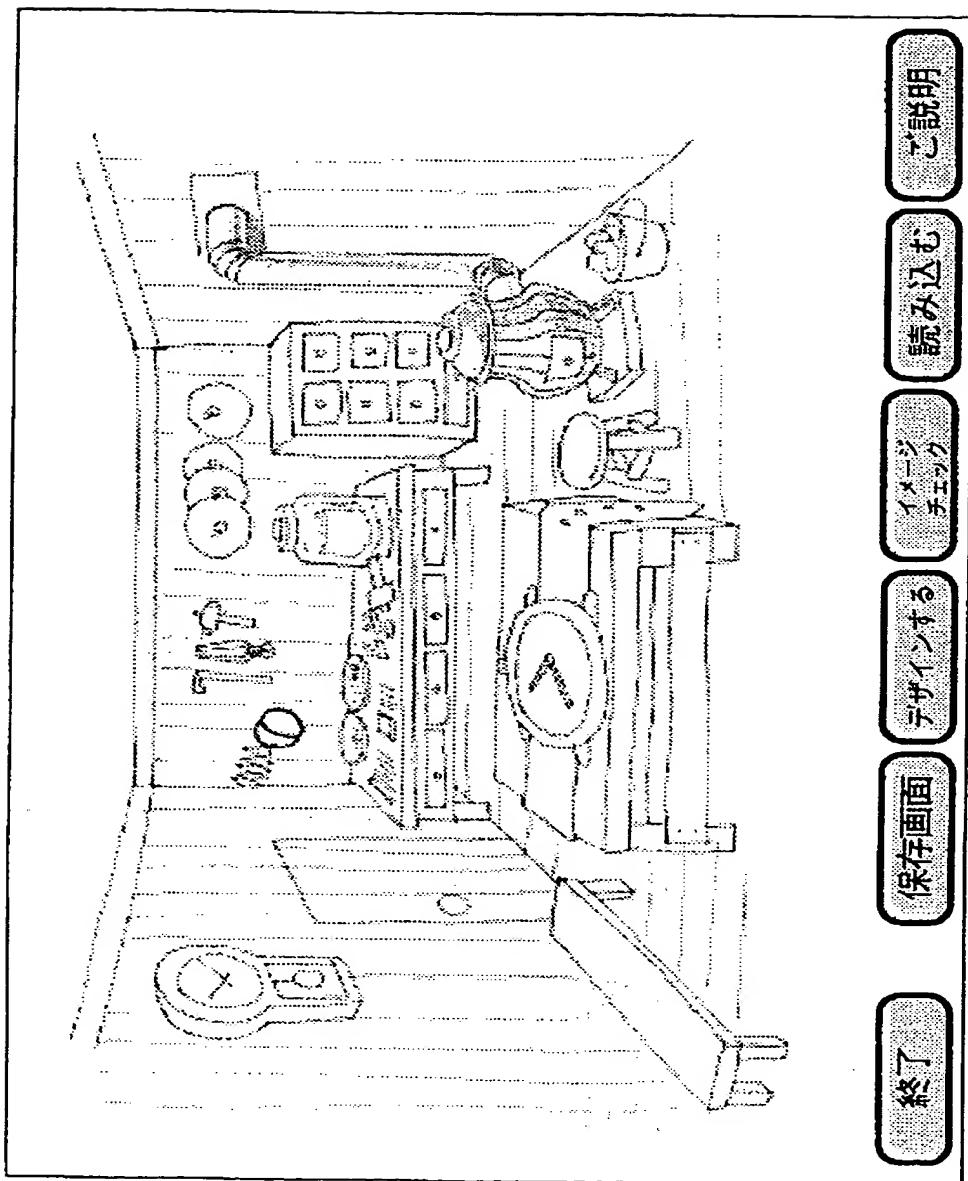
【図12】



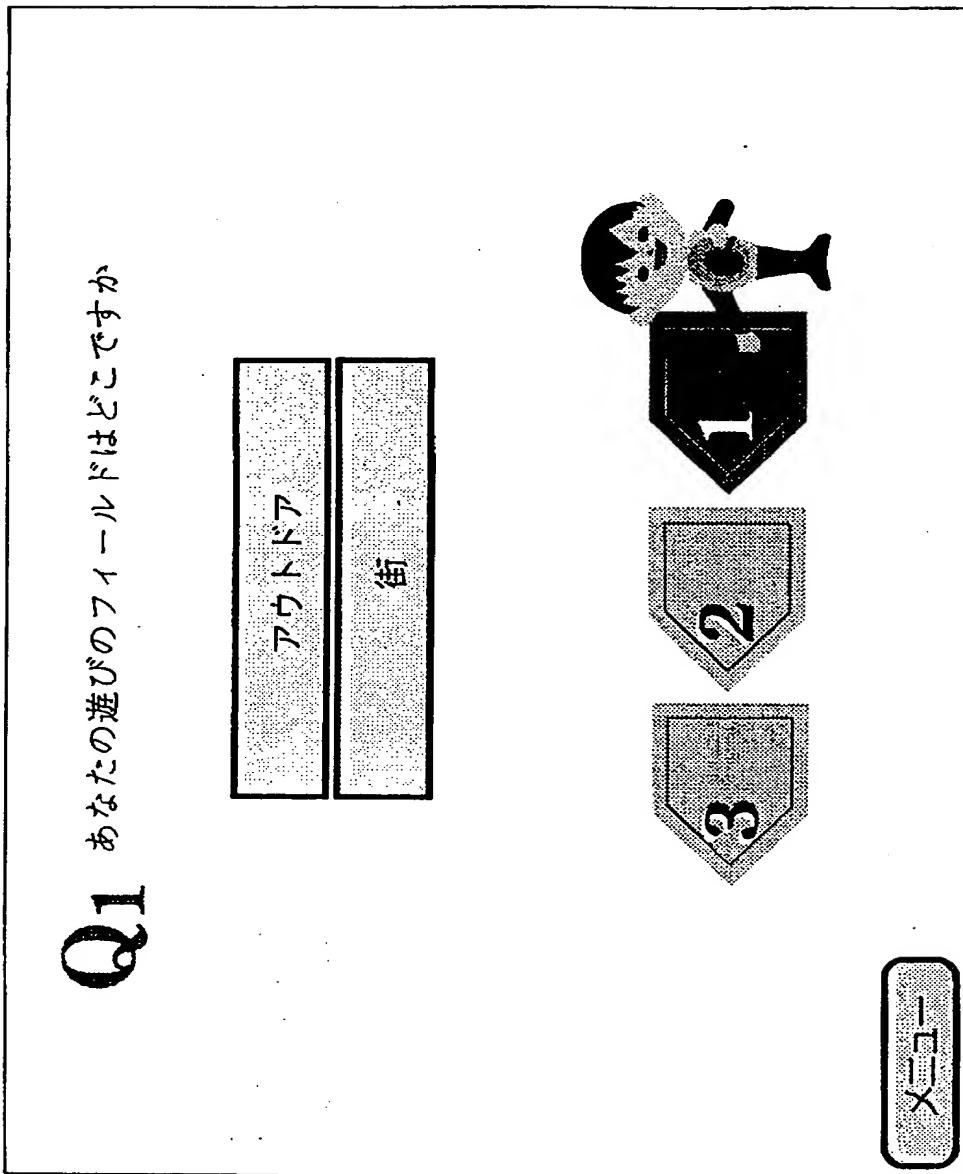
【図13】



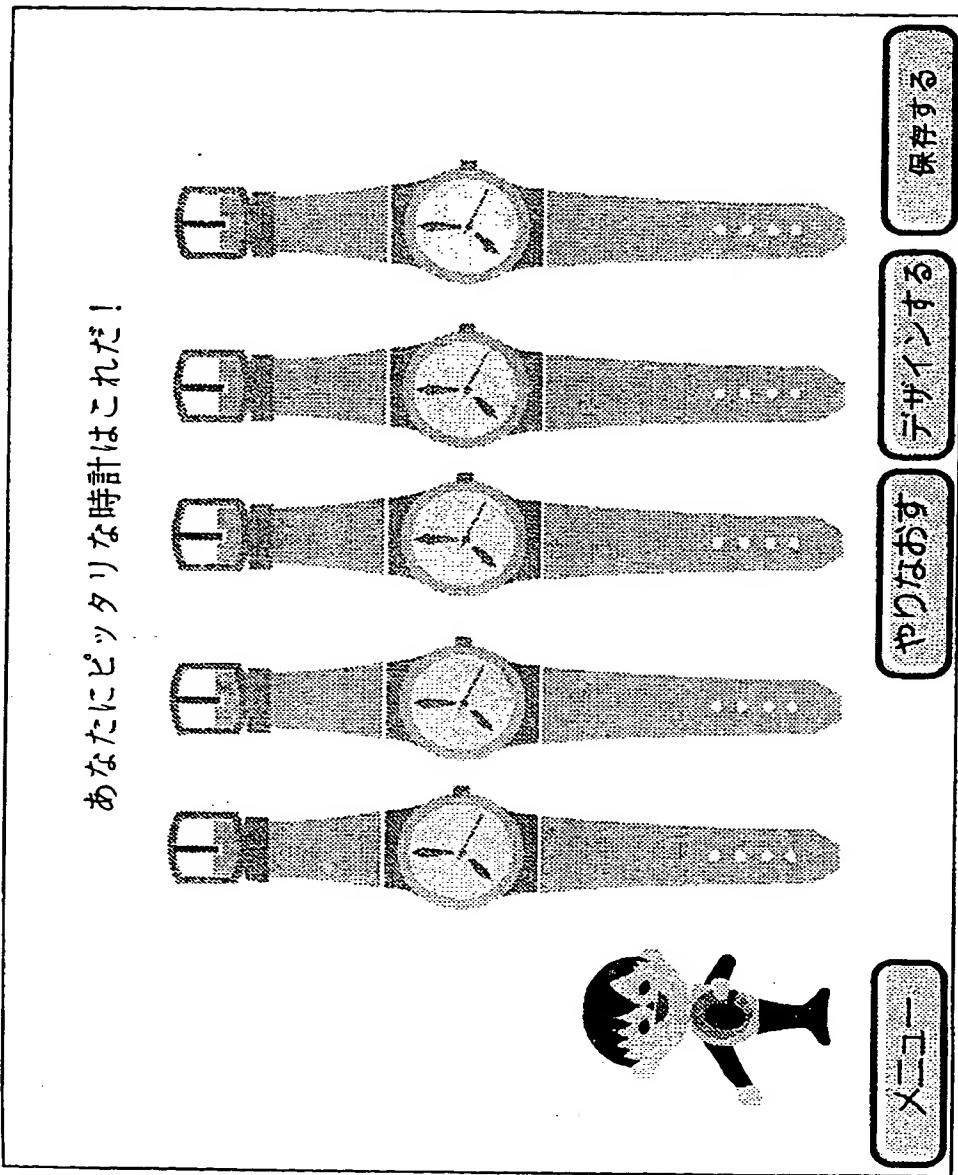
【図14】



【図15】

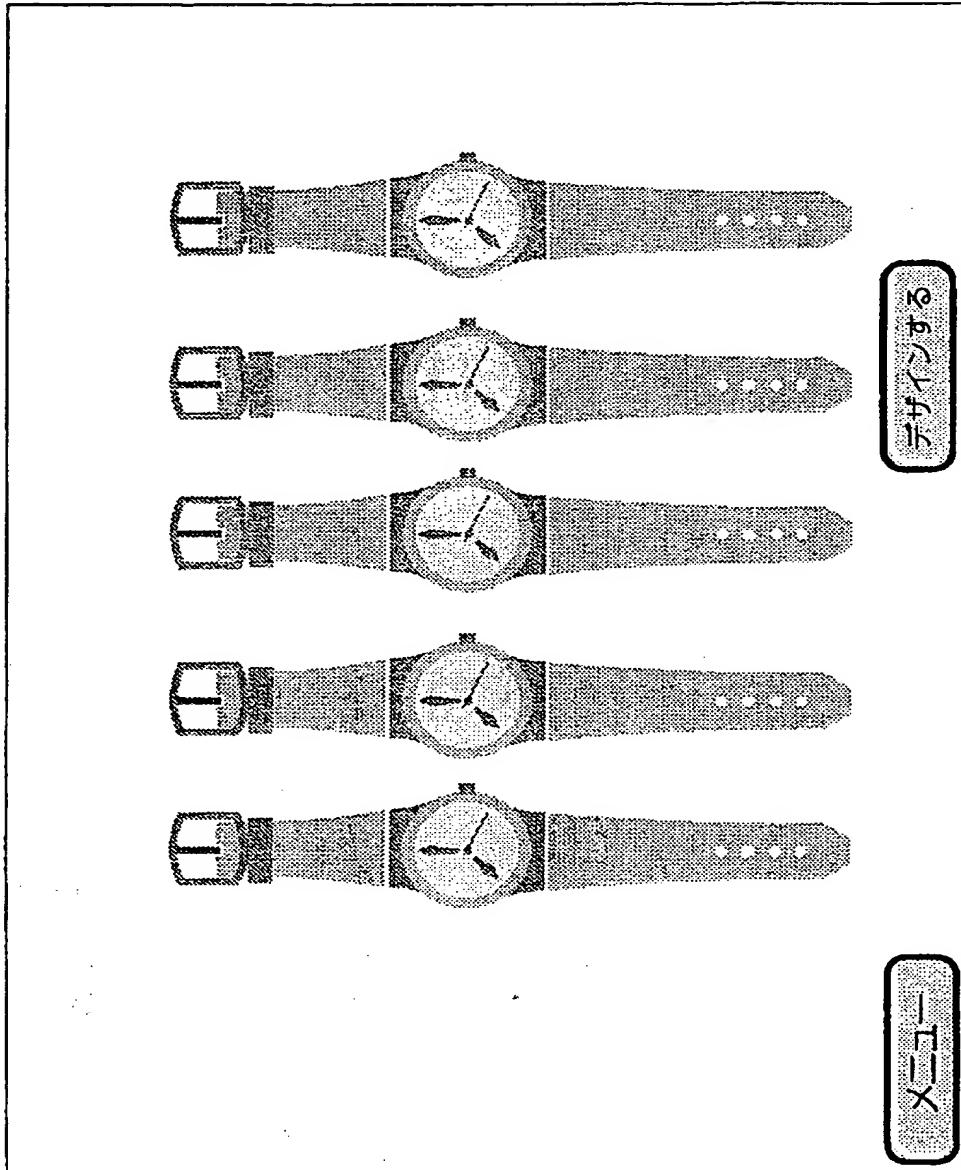


【図16】

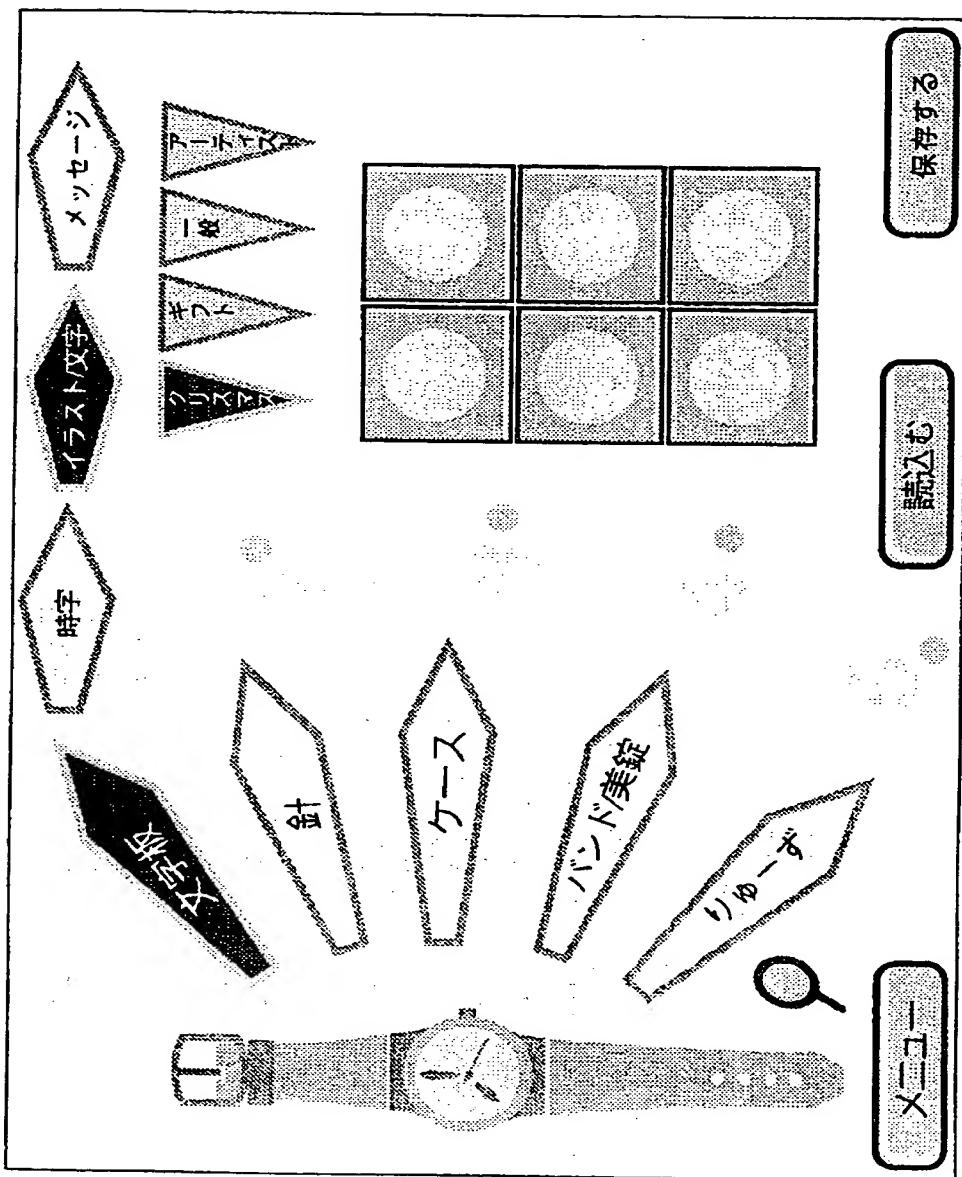


特平 8-267449

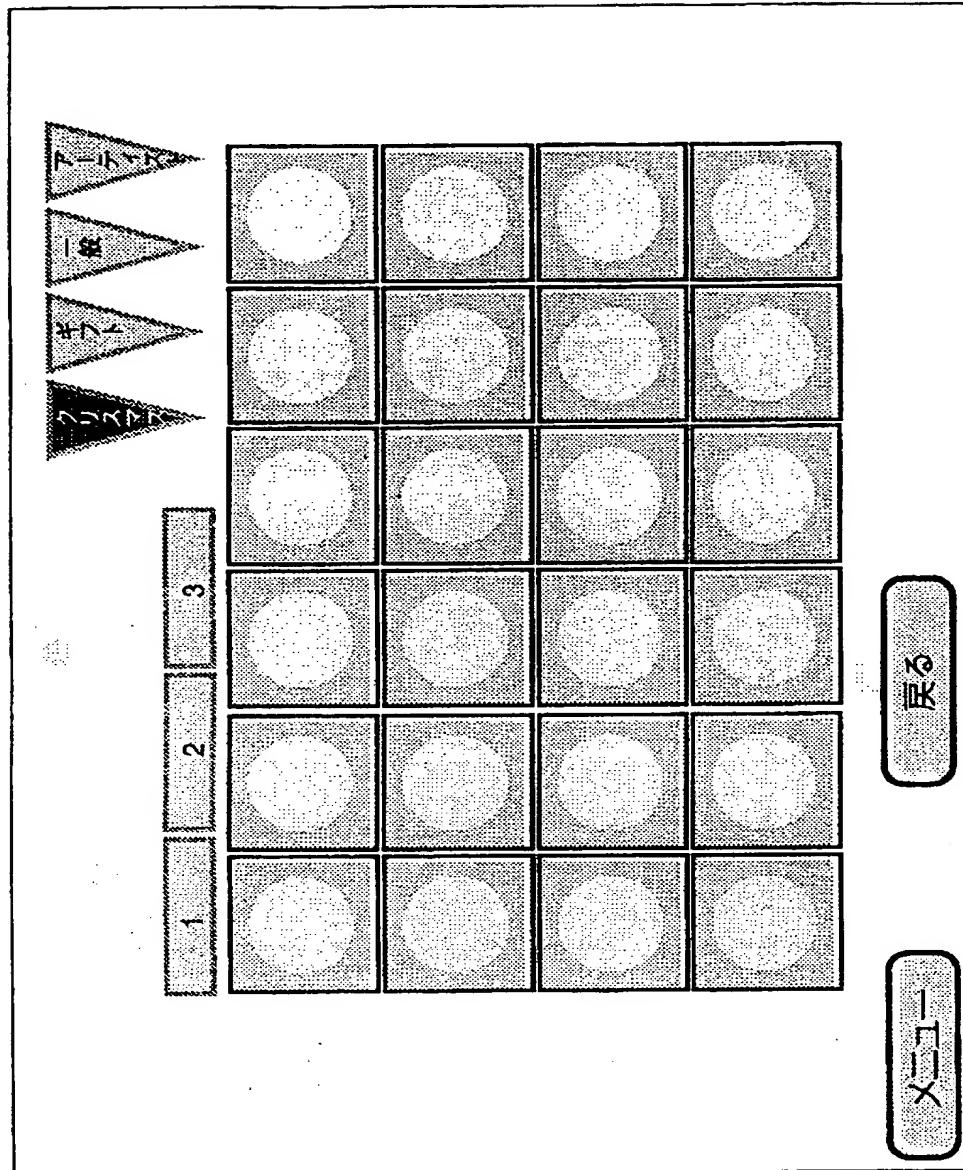
【図17】



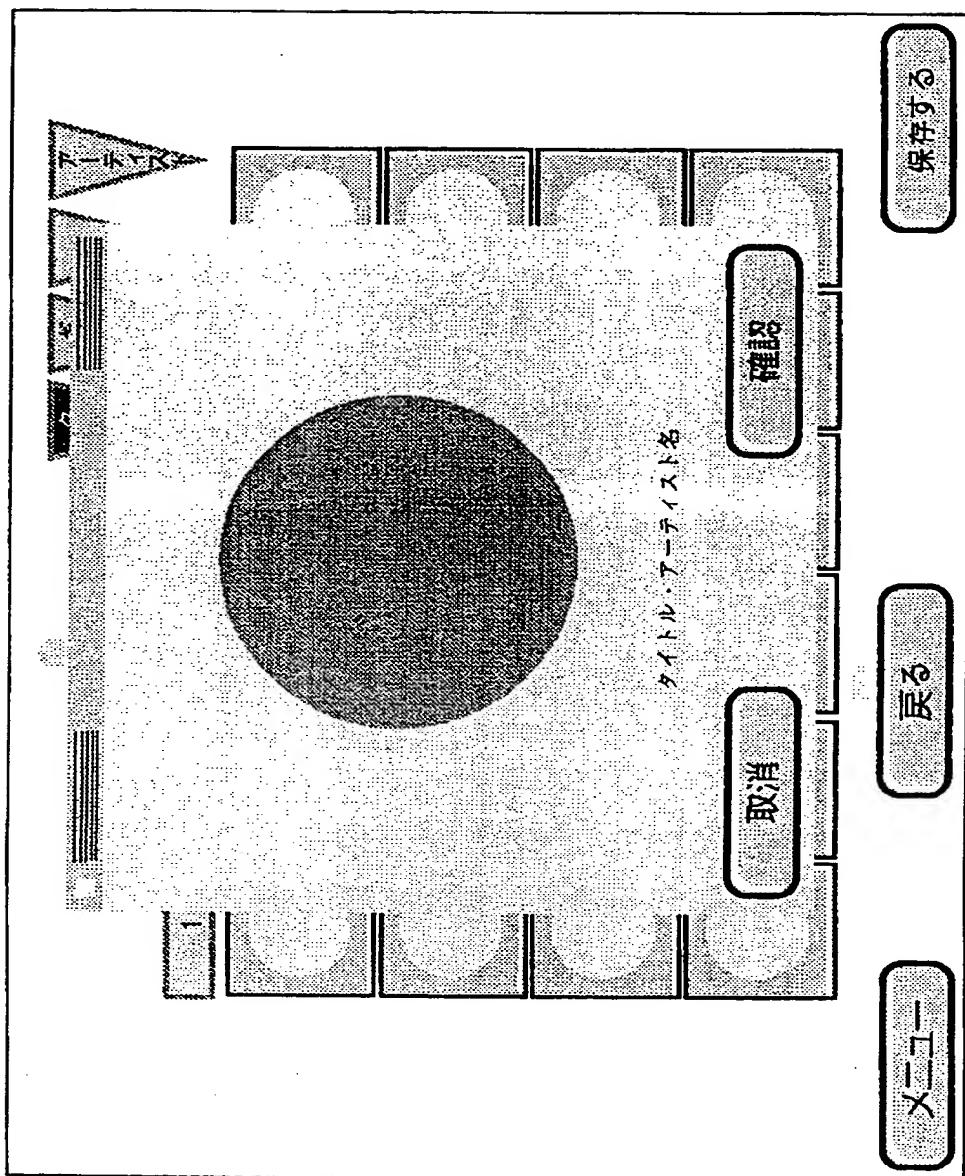
【図18】



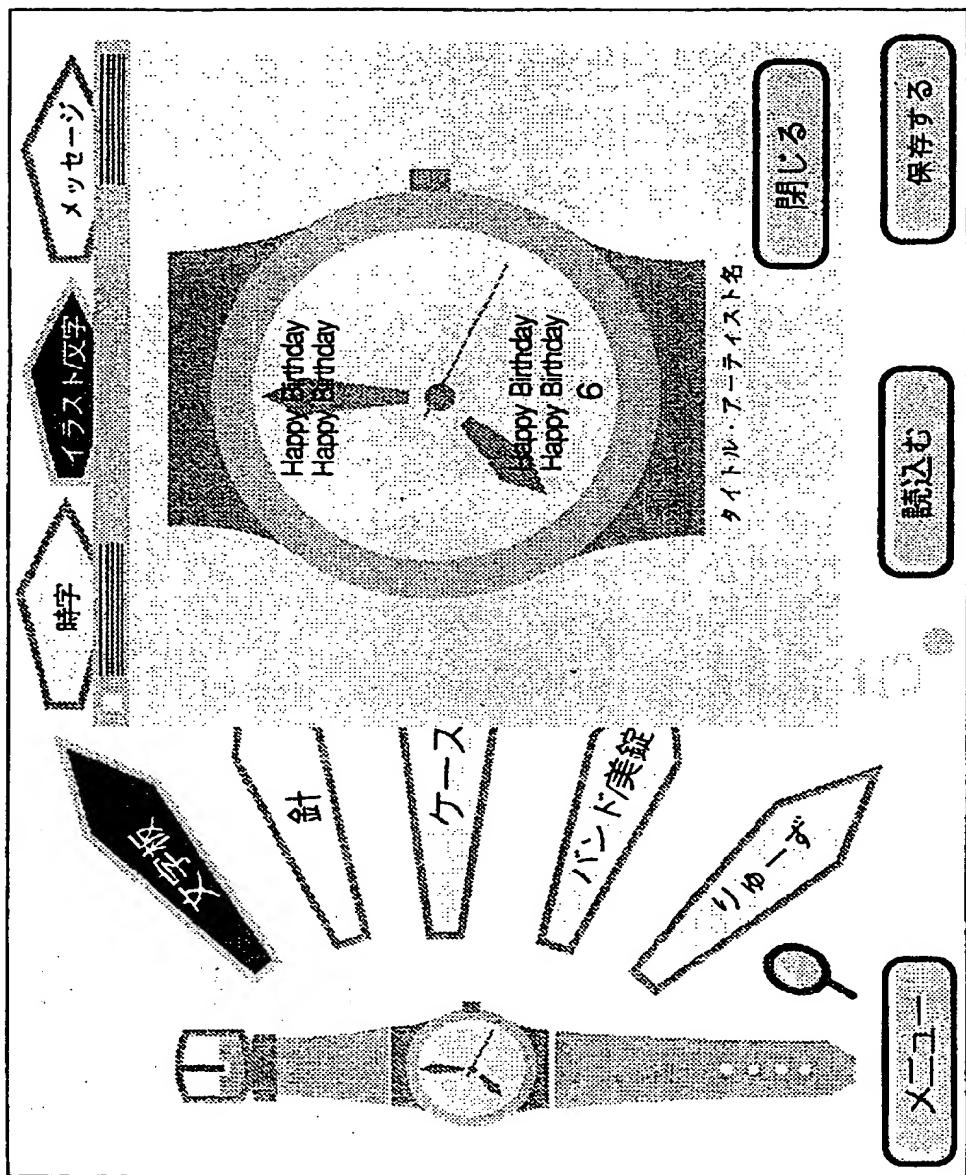
【図19】



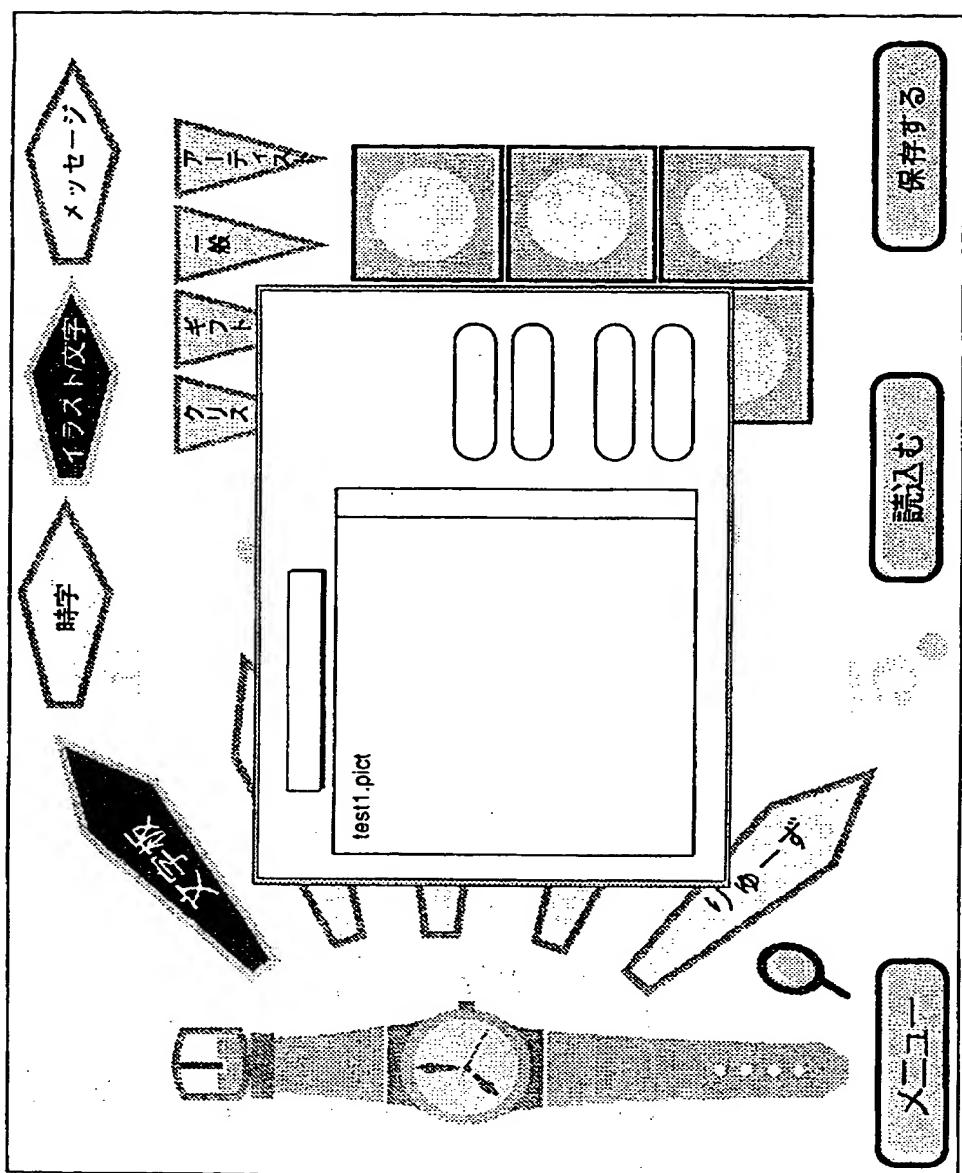
【図20】



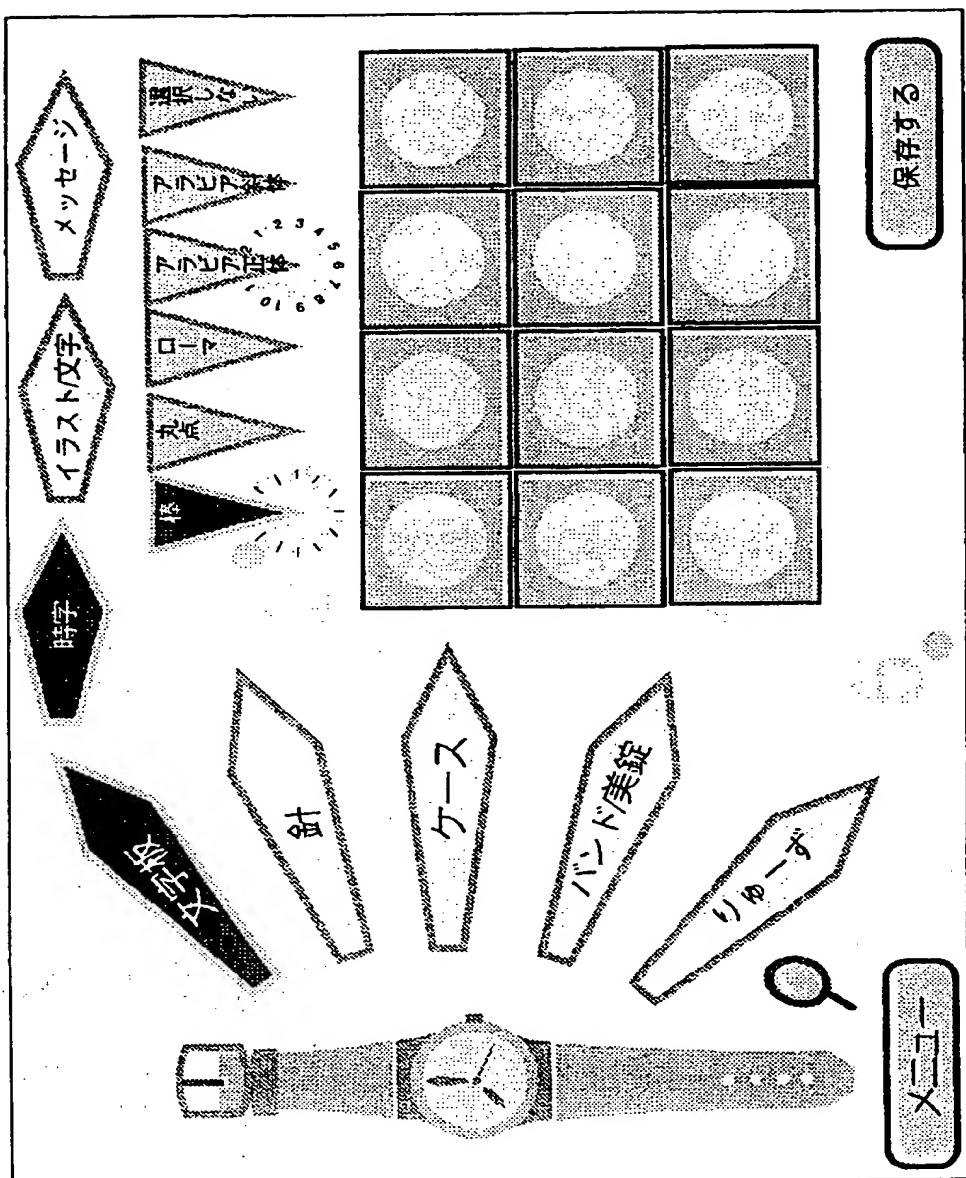
【図21】



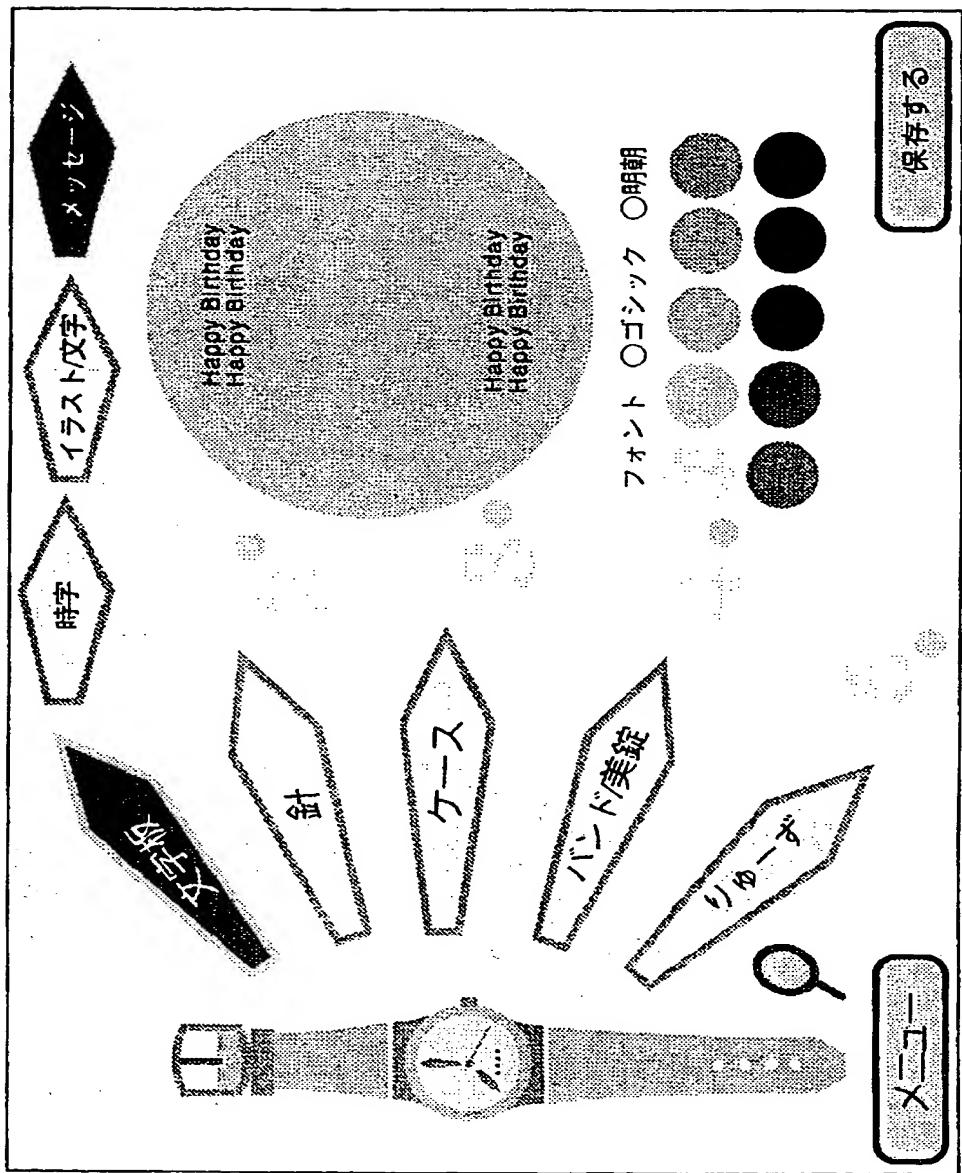
【図22】



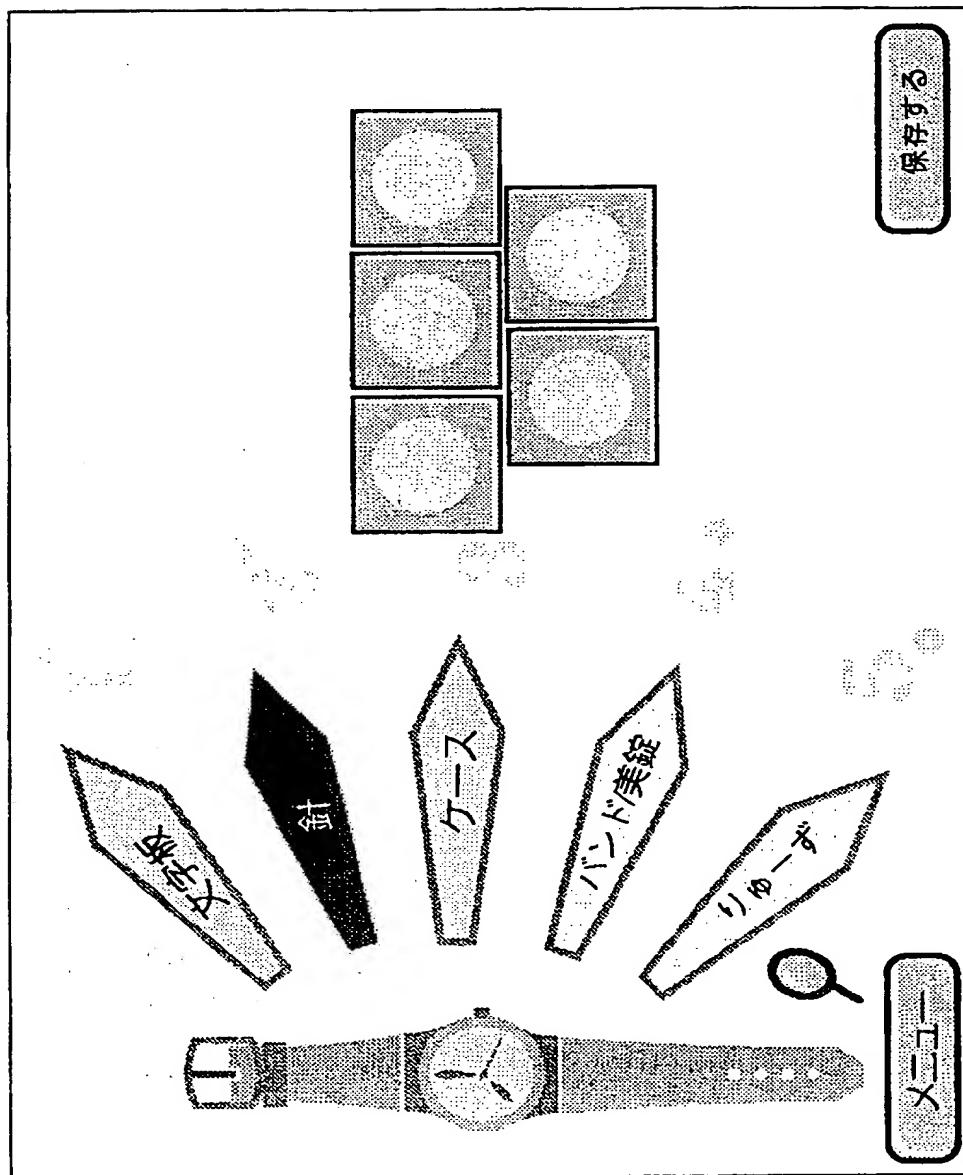
【図23】



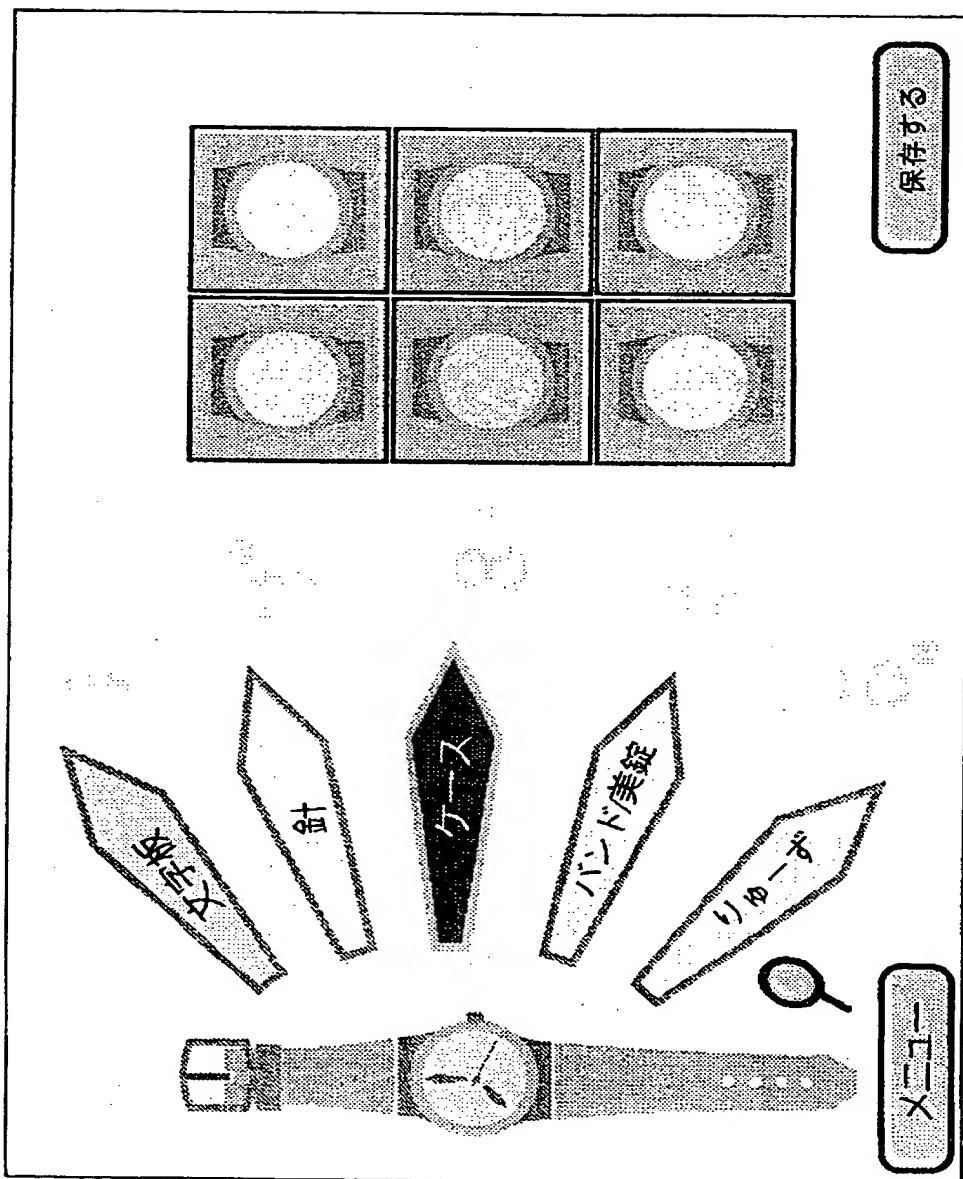
【図24】



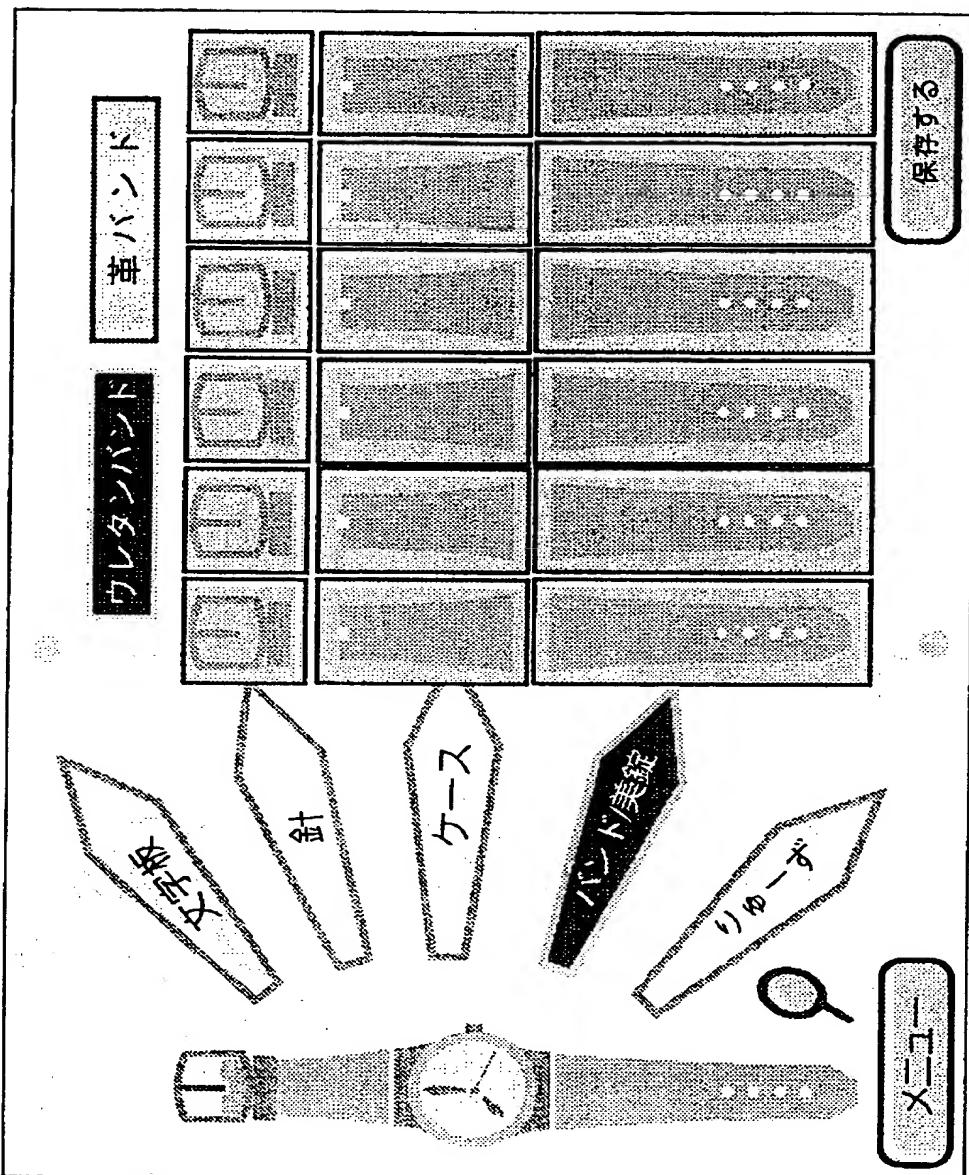
【図25】



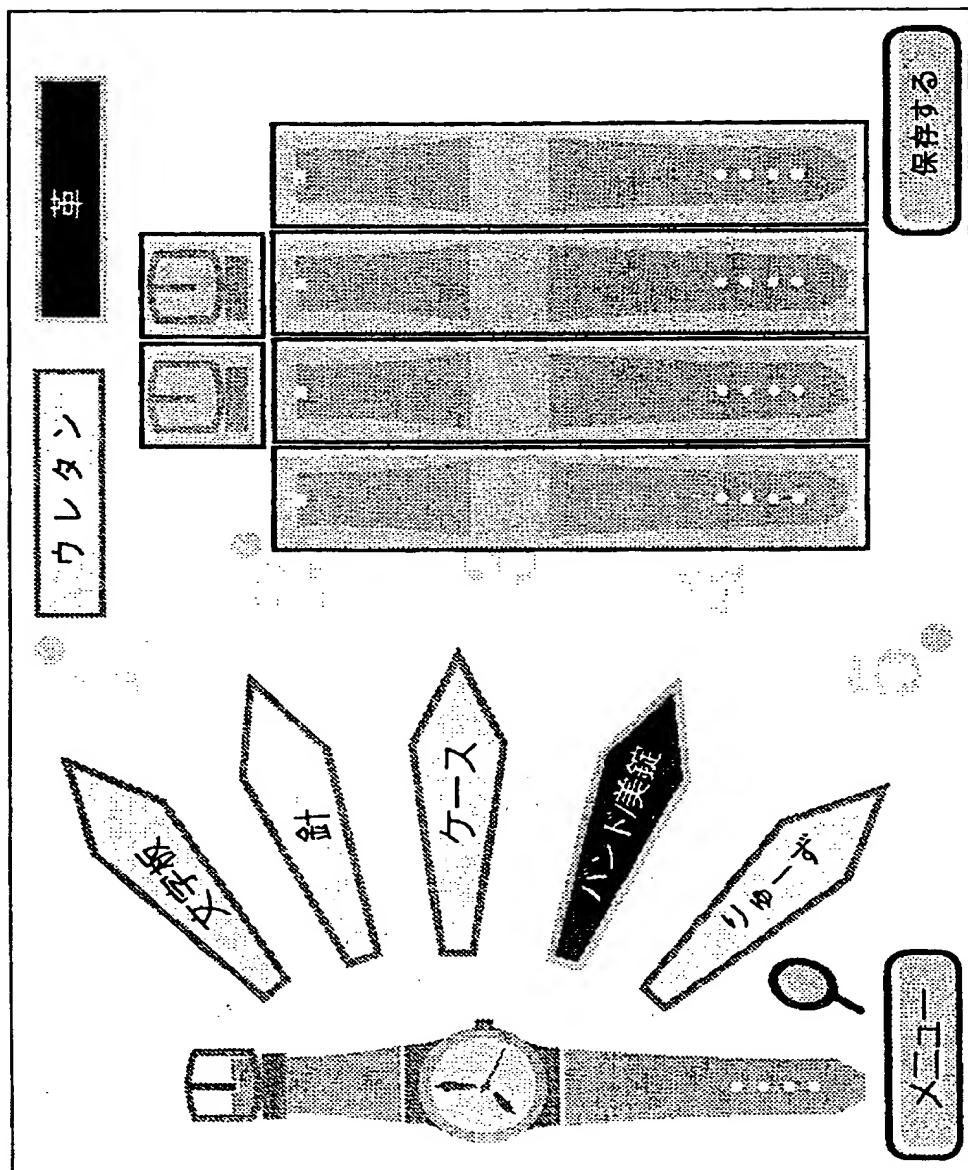
【図26】



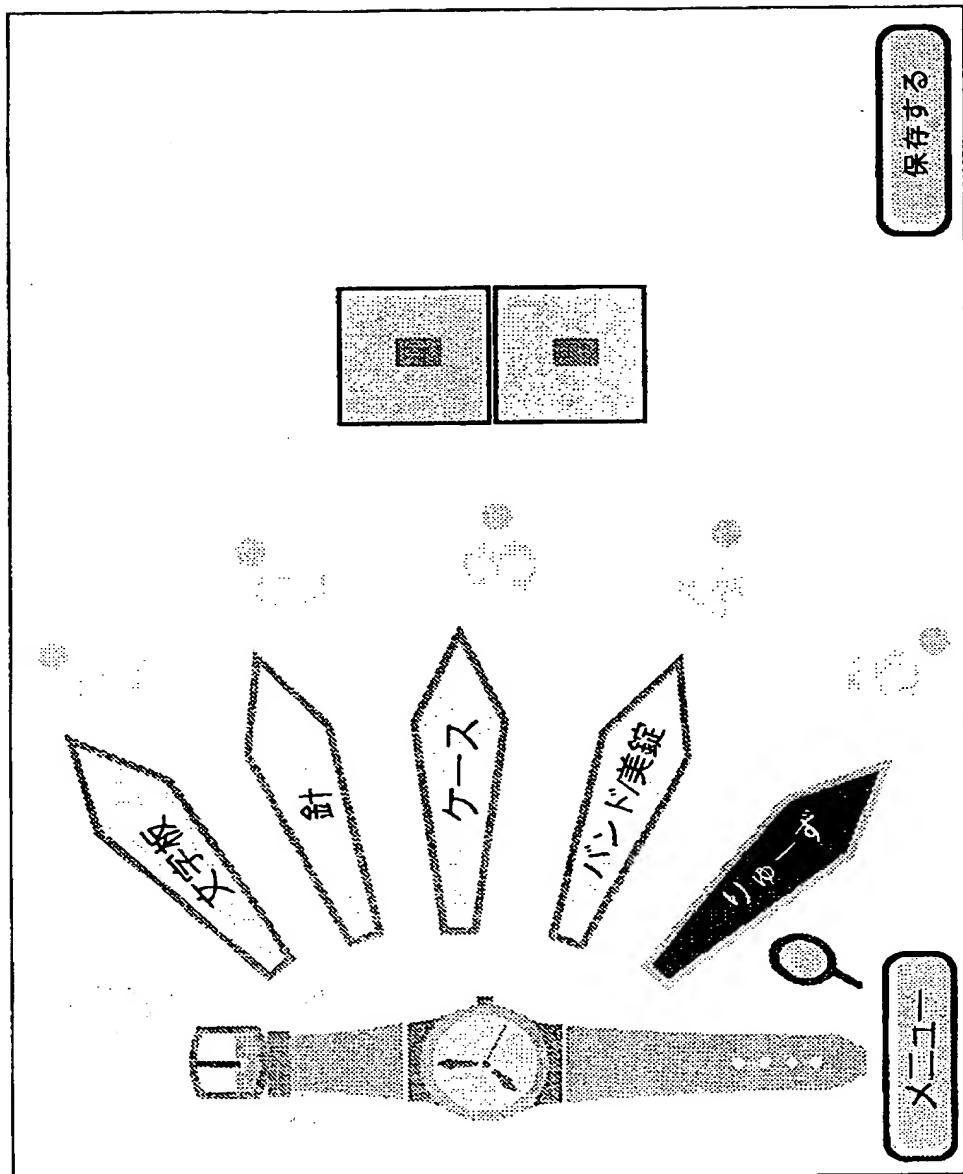
【図27】



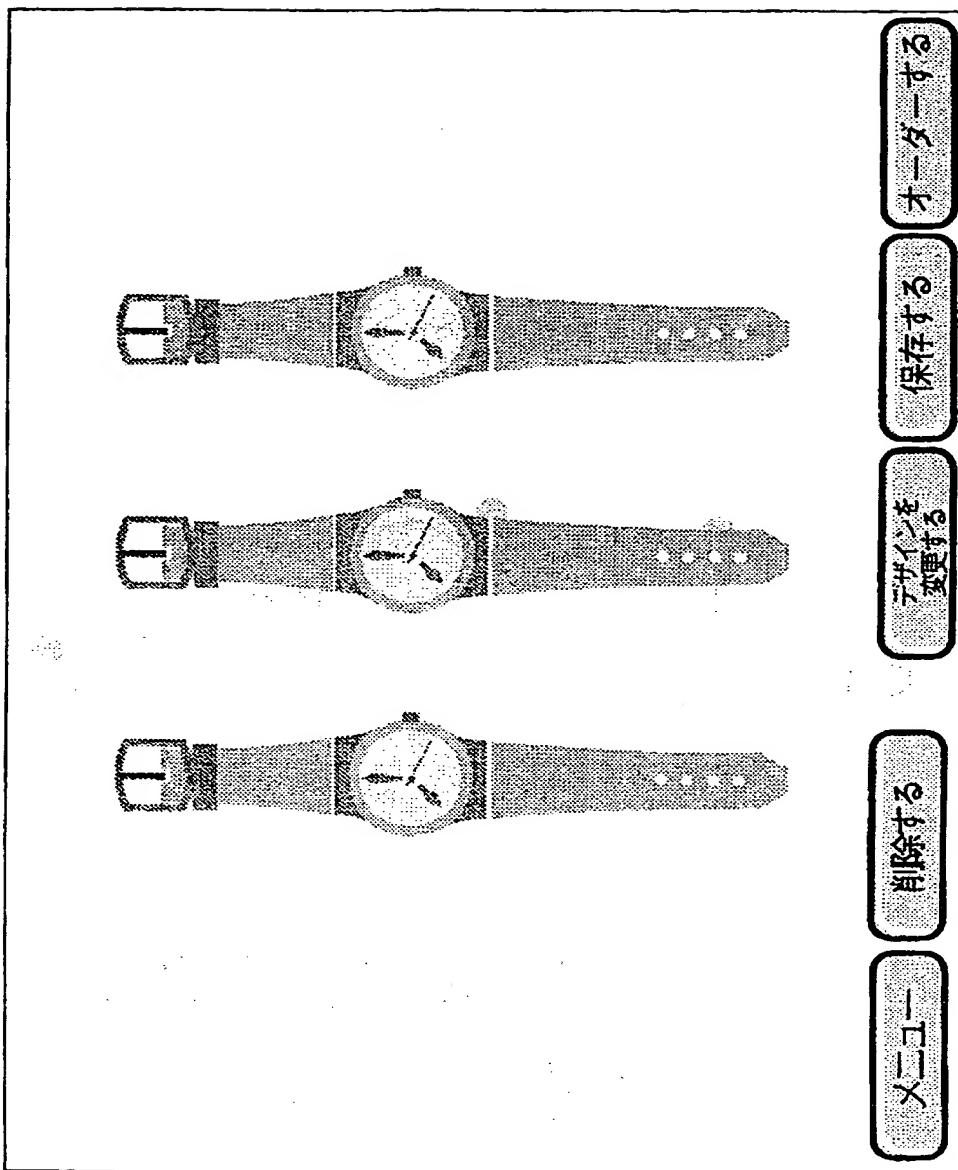
【図28】



【図29】

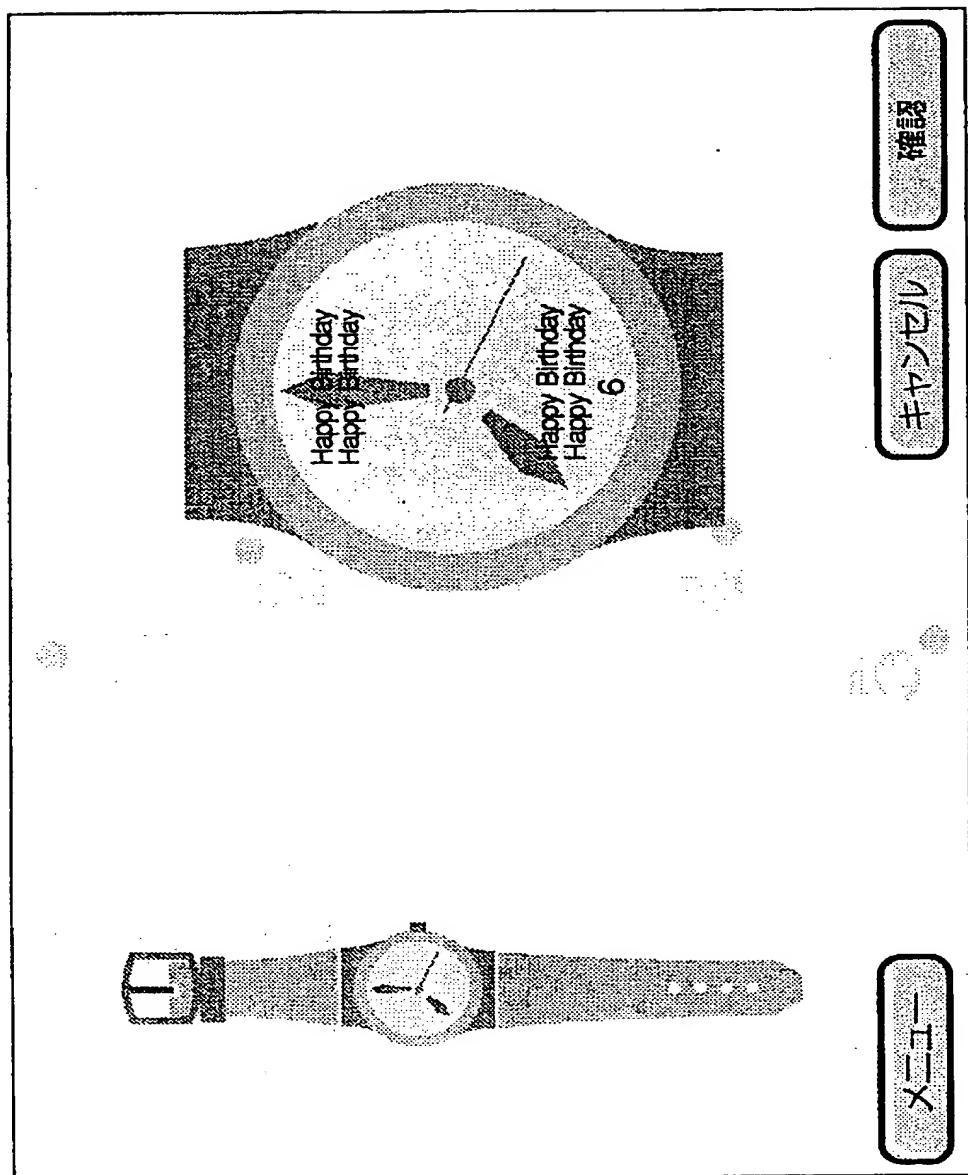


【図30】



特平 8-267449

【図31】



【図32】

ふりがな	[ ]
お名前	[ ]
郵便番号	[ ]
住所	[ ]
電話番号	[ ]
電子メール	[ ]
個数	[ ] 個

商品のお届け先が上記と異なる場合のみご記入ください。

ふりがな	[ ]
お名前	[ ]
郵便番号	[ ]
住所	[ ]
電話番号	[ ]

色調確認（××××円増）を希望する。 ○希望する ○しない

メニュー

メモセル

金額確認



【図33】

ふりがな	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
お名前	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
郵便番号	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
住所	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
電話番号	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
電子メール	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
個数	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□

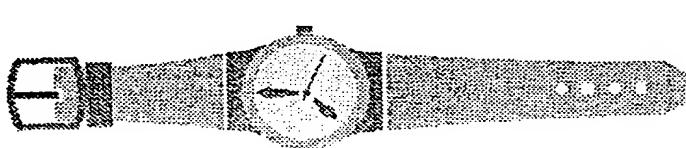
商品のお届け先が上記と異なる場合のみご記入ください。

ふりがな	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
お名前	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
郵便番号	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
住所	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□
電話番号	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□

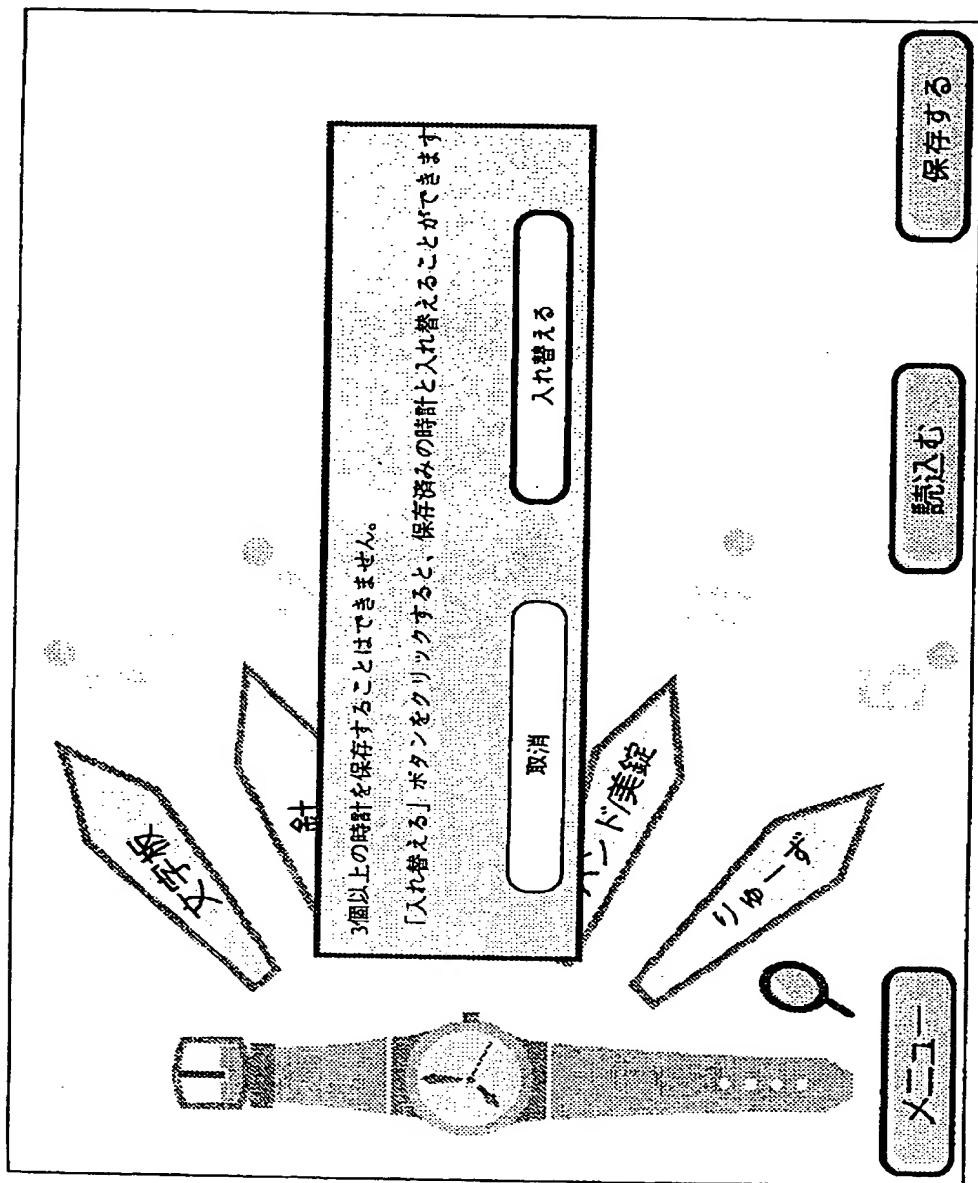
色調確認（××××円増）を希望する。  希望する  しない

個数	×××	個	単価	×××	円	金額	×××××	円
						消費税	××××	円
						合計	××××	円

上記合計金額を当社口座へお振り込みください。  
×××銀行 ×××支店 口座番号 ××××××××



【図34】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報通信手段を通じて消費者の好みにあった時計を作成する時計デザイン作成システム及びその方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 時計メーカーが時計デザインの作成サービスを情報通信手段を介して消費者に通知する手段と、消費者が時計メーカーにデザインソフトと部品デジタル情報を請求する手段と、時計メーカーが提供可能な部品デジタル情報とそれを組み合わせるためのデザインソフトによるデザイン基礎情報を、情報通信手段上、又は記録媒体で、消費者に転送する手段と、消費者がデザインソフトウェアと部品デジタル情報を使用して独自に部品デジタル情報を組み合わせてオリジナルデザイン情報を作成する手段と、消費者が時計メーカーに返送して作成を依頼する手段と、時計メーカーが消費者より受け取ったオリジナルデザイン情報に従い時計を作成し完成した時計を消費者に配送する手段とで構成される。

【選択図】 図 1

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000001960  
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号  
【氏名又は名称】 シチズン時計株式会社  
【代理人】 申請人  
【識別番号】 100077517  
【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル  
【氏名又は名称】 青和特許法律事務所  
石田 敬

【選任した代理人】

【識別番号】 100100871  
【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル  
【氏名又は名称】 青和特許法律事務所  
土屋 繁

【選任した代理人】

【識別番号】 100088269  
【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル  
【氏名又は名称】 青和特許法律事務所  
戸田 利雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100082898  
【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル  
【氏名又は名称】 青和特許法律事務所  
西山 雅也

特平 8-267449

出願人履歴情報

識別番号 [000001960]

1. 変更年月日 1990年 8月23日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号  
氏 名 シチズン時計株式会社

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**